令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人　鹿屋市社会福祉協議会

Ⅰ　令和６年度事業実績概要

近年の少子高齢化や核家族化等の社会構造の変化により住民同士のつながりの希薄化がさらに進み，社会的に孤立する世帯が増加してきています。また，雇用環境の改善はみられるものの，食料品や電力等の価格高騰等の影響により，生活改善に至らず困窮状態が継続している世帯への支援も引き続き必要な状況となっています。

このような状況の中，地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会には，国が提唱する「地域共生社会」の実現に向けて，地域住民が抱える福祉課題や生活課題に対して，地域住民をはじめ多様な活動主体と連携・協働した一体的且つ効果的な地域福祉活動の展開が求められているところです。

当会といたしましては，令和６年度から鹿屋市の委託を受け実施している重層的支援体制整備事業を始めとした各種事業を通じて複雑化・複合化した地域住民の様々な生活課題や福祉課題について，鹿屋市や関係機関等と連携を図りながら，これらの課題解決に向けた取組を行ったところです。

また，経営環境の厳しい介護保険事業についても，安定的なサービスの提供に向けた業務効率化などに取り組み，持続可能な事業運営に努めたところです。

≪　重　点　項　目　≫

１　組織・財政基盤の強化

２　地域福祉活動の推進

３　権利擁護推進センターの円滑な運営

４　障がい者基幹相談支援センターの関係機関との連携強化

５　市指定管理施設の適正な管理運営と利用促進

６　介護保険事業の効果的・効率的な運営

Ⅱ 事 業 実 績

総 務 課 所 管

1　法人運営事業の実施

（1）役員会等の開催

①　理事会の開催（3回）

開催日	出席者数	審　議　事　項　等
第1回 6月3日(月)	理事　8人 監事　3人 計　11人	【議　事】(14議案) ・令和5年度事業報告の承認 ・令和5年度会計収支決算の承認 ・令和6年度会計補正予算(第1号)の承認 ・職員就業規則の一部改正の承認 ・嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・居宅介護等事業，居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・居宅介護等事業，居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・法外援護事業規程の一部改正の承認 ・理事候補者の推薦の承認 ・評議員候補者の推薦の承認 ・評議員選任･解任委員の選任の承認 ・評議員選任･解任委員会の招集の承認 ・定時評議員会の招集の承認 【報　告】 ・会長の職務執行状況（令和6年3月～4月） 【その他】 ・能登半島地震における珠洲市災害ボランティアセンター運営支援の報告
第2回 11月27日(水)	理事　10人 監事　2人 計　12人	【議　事】(10議案) ・令和6年度会計補正予算(第2号)の承認 ・嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正の承認 ・訪問介護事業所運営規程の一部改正の承認

開催日	出席者数	審　議　事　項　等
		・訪問入浴介護事業所運営規程の一部改正の承認 ・輝北居宅介護支援事業所運営規程の一部改正の承認 ・障害者居宅介護等事業所(居宅介護,重度訪問介護及び同行援護)運営規程の一部改正の承認 ・生活福祉資金小口貸付償還免除の承認 ・第２回評議員会の招集の承認 【報　告】 ・会長の職務執行状況（令和６年５月～10 月） ・評議員の定数見直しの今後のスケジュール 【その他】 ・生活支援体制整備事業の概要の説明 ・地域福祉協議会，ワールドサロンの動画上映
第３回 ３月 18 日(火)	理事 11 人 監事　１人 計 12 人	【議　事】（９議案） ・令和６年度会計補正予算(第３号)の承認 ・職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正の承認 ・事務局規程の一部改正の承認 ・事務処理規程の一部改正の承認 ・公印管理規程の一部改正の承認 ・経理規程の一部改正の承認 ・令和７年度事業計画の承認 ・令和７年度会計予算の承認 ・第３回評議員会の招集の承認 【報　告】 ・会長の職務執行状（令和６年１１月～令和７年１月） ・評議員定数の見直しに伴う具体案

② **評議員会の開催（３回）**

開催日	出席者数	審　議　事　項　等
第１回 （定時評議員会） ６月 26 日(水)	評議員 18 人 監　事　１人 計 19 人	【議　事】（５議案） ・令和５年度会計補正予算(第４号)の専決処分の承認 ・令和５年度事業報告の承認 ・令和５年度会計決算の承認 ・令和６年度会計補正予算(第１号)の承認 ・理事の選任の承認 【その他】 ・能登半島地震における珠洲市災害ボランティアセンター運営支援の報告

開催日	出席者数	審　議　事　項　等
第２回 12 月５日(木)	評議員 18 人	【議　事】(１議案) ・令和６年度会計補正予算(第２号)の承認 【報　告】 ・評議員の定数見直しの今後のスケジュール 【その他】 ・生活支援体制整備事業の概要の説明 ・地域福祉協議会，ワールドサロンの動画上映
第３回 ３月 26 日(水)	評議員 15 人	【議　事】(３議案) ・令和６年度会計補正予算(第３号)の承認 ・令和７年度事業計画の承認 ・令和７年度会計予算の承認 【報　告】 ・評議員定数の見直しに伴う具体案

③　正副会長会の開催（３回）

開催日		出席者数	審　議　事　項
第１回	５月 28 日(火)	３人	第１回理事会及び定時評議員会上程議案の承認
第２回	11 月 21 日(木)	３人	第２回理事会及び第２回評議員会上程議案の承認
第３回	３月 ７日(金)	３人	第３回理事会及び第３回評議員会上程議案の承認

④　監事監査の実施（１回）

開催日	出席者数	監　査　事　項
５月 20 日(月)	３人	令和５年度業務執行の状況及び会計収支決算等

⑤　監事による業務執行調査の実施（１回）

開催日	出席者数	調　査　事　項
５月 21 日(火)	３人	生活福祉資金貸付事業，地域くらし・ささえあい事業の説明及び業務観察（総務課在宅福祉サービス室）

（２）評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席者数	審　議　事　項
６月 10 日(月)	５人	評議員の選任の承認(欠員５人)

（３）規則・規程の一部改正

規則・規程の名称		備考
規則 (２件)	①職員就業規則	第１回理事会
	②職員の育児・介護休業等に関する規則	第２回・第３回理事会
規程 (13 件)	①嘱託職員の就業等に関する規程	第１回・第２回理事会
	②居宅介護等事業，居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程	第１回理事会

規則・規程の名称		備考
	③非常勤職員の就業等に関する規程	第１回・第２回理事会
	④居宅介護等事業,居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程	第１回理事会
	⑤法外援護事業規程	第１回理事会
	⑥訪問介護事業所運営規程	第２回理事会
	⑦訪問入浴介護事業所運営規程	第２回理事会
	⑧輝北居宅介護支援事業所運営規程	第２回理事会
	⑨障害者居宅介護等事業所(居宅介護,重度訪問介護及び同行援護)運営規程	第２回理事会
	⑩事務局規程	第３回理事会
	⑪事務処理規程	第３回理事会
	⑫公印管理規程	第３回理事会
	⑬経理規程	第３回理事会

（４）事務事業の見直し

当会各課が所管する事業で，特に見直しが必要な 13 事業の課題とその具体的な改善策について，８月 22 日から９月２日までの期間内において職員間で協議検討を行ったうえ，次年度の事業計画案や予算案等に反映させるなどし，事務事業の見直しに努めた。

課名	各課所管事業名
ア　総務課	・法人運営事業
	・重層的支援体制整備事業（権利擁護）
	・福祉サービス利用支援事業
	・介護保険事業（訪問介護，訪問入浴介護）
	・障害福祉サービス事業（居宅介護，訪問入浴介護）
	・輝北ふれあいセンター事業
	・輝北地区乗合ワゴン事業
イ　地域福祉課	・重層的支援体制整備事業（アウトリーチ,食料支援）
	・福祉プラザ管理運営事業
	・高齢者元気度アップ・ポイント事業
	・高齢者地域支え合いグループポイント事業
	・共同募金配分金事業
	・障害者社会参加促進事業

（５）適正な会計処理の実施と財政基盤・財務規律の強化

①　適正な会計処理の実施

社会福祉法人会計基準や経理規程等に基づいた適正な財務会計処理の執行に努めた。

ア　会計処理等業務の指導，助言等の委託（風呂井会計事務所）
イ　積立資産の資金運用等に係る情報収集（証券会社より）
ウ　固定資産等財産の適正管理
エ　内部監査の実施（11 月 29 日）

②　財務基盤・財政規律の強化

自主財源や公的財源の確保に努めるとともに，経費節減に係る職員意識の高揚に努めた。

ア　自主財源	・会費，寄附金，共同募金配分金の安定的確保 ・広告掲載事業の実施（社協だよりに広告を掲載：４回） ・寄附金付き清涼飲料水自販機の設置（４台）
イ　公的財源	・補助金，受託金等の安定的確保
ウ　経費節減	・複数の見積徴取の徹底

（６）広報・啓発の充実・強化

当会の事業や活動等について，市民や関係機関・団体等の理解と関心を深めていただくため，広報・啓発活動の充実・強化に努めた。

①　社協だよりの発行（４回）

号数	発行日	発行部数	備考
第 64 号	４月 28 日	42,000 部	町内会(全戸)，社会福祉施設等に配布 （Ａ４，12 頁，両面カラー印刷）
第 65 号	７月 12 日	42,000 部	
第 66 号	10 月 28 日	42,000 部	
第 67 号	１月 13 日	42,000 部	

②　各支所広報誌の発行（５回）

区分	広報誌の名称	発行月	配布先
吾平支所	吾平福祉ふれあい便り	10 月 ３月	吾平地域の町内会(2,301 世帯)に配布
輝北支所	輝北ふれあいセンターだより	７月 ３月	輝北地域の自治会(172 班)に回覧
串良支所	鹿屋市社協だより「串良発」	２月	串良地域の町内会(3,736 世帯)に配布

③　当会ホームページ等による広報や情報提供（随時）

当会ホームページをより見やすく，分かりやすい新しいバージョンに刷新するとともに動画を活用した情報発信を行うなど視聴者が理解を深めやすい情報提供に努めた。

区分	実績件数	対前年度比	備考
掲載件数	59 件	8 件	イベント・講習会，職員採用情報等
改正件数	10 件	△12 件	社協事業掲載事項の変更
閲覧件数	35,375 件	8,253 件	ホームページの検索件数

④ その他

本所・本所分室及び各支所の施設内ロビー等に当会事業紹介パネルの展示（常設）

（7）社協会員制度の周知と加入促進

地域福祉の推進や充実に資する当会会員制度について，広報誌などに掲載して周知を行い，市民の加入促進に努めた。

会員の種類	会費の金額	加入実績	会費実績	対前年度比
一般会員	1 世帯　300 円	17,142 世帯	5,142,860 円	△292,750 円
団体会員	1 口　3,000 円	33 団体[72 口]	216,000 円	△3,000 円
特別会員	1 口 10,000 円	49 会員[53 口]	530,000 円	△60,000 円
合　　計			5,888,860 円	△372,650 円

（8）社会福祉功労者・団体の表彰

永年にわたり，社会福祉事業に従事し，又は社会福祉活動に協力や援助を行うなど，功労や功績のあった団体や個人に対して，当会規程に基づき表彰を行った。

① 表彰状と記念品の贈呈（鹿屋市福祉まつり）

区分	被表彰団体，被表彰者		表彰月日
団体	11 団体	・大姶良東声かけ友愛隊 ・高須みまもり隊 ・元気でハッピーながのだ ・札元２丁目高齢者見守り隊 ・寿２ふれ愛隊 ・泉ヶ丘ふれあい隊 ・大浦ブルーバード隊 ・鶴峰中地区町内会見守り隊 ・昭栄にこにこ和み会 ・富ヶ尾かのこグループ ・下方限いきいきしあわせ隊	鹿屋市福祉まつり 表彰式典 10 月 26 日(土)
個人	４名	・心配ごと相談員　２名 ・ボランティア個人　２名	

② 感謝状の贈呈

区分	贈呈先		贈呈月日
法人	３法人	・株式会社 倉府食品　（食糧品の提供） ・社会福祉法人 岳風会（食糧品の提供）	11 月 18 日(月)
		・株式会社　有馬工業　（多額寄附）	１月 24 日(金)
個人	７名	・多額寄附者　　１名	10 月 28 日(月)
		・多額寄附者　　２名	２月 21 日(金)
		・社会福祉功労者　４名	３月 28 日(金)

（９）職員採用と育成

正規職員の採用試験や階層別研修を実施し，職員の採用と育成に努めた。

① 職員の採用

組織の安定的な運営に向けた優秀な人材獲得を目的として採用試験を実施した。

<table>
<tr><td rowspan="6">第１回</td><td>ア　採用区分</td><td colspan="4">大卒程度（正規職員）</td></tr>
<tr><td>イ　受験応募者数</td><td colspan="4">３人(女性３人)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ウ　採用試験実施日
及び受験者数</td><td>第１次試験
(教養試験)</td><td>８月 25 日(日)</td><td rowspan="2">受験者数</td><td>２人</td></tr>
<tr><td>第２次試験
(個別面接)</td><td>９月 29 日(日)</td><td>２人</td></tr>
<tr><td>エ　採用候補者選考委員会</td><td colspan="4">９月３日(火)・９月 29 日(日)開催</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オ　採用年月日・人数</td><td>採用年月日</td><td colspan="3">令和７年４月１日</td></tr>
<tr><td>採用人数</td><td colspan="3">１人(女性)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">第２回</td><td>ア　採用区分</td><td colspan="4">職務経験者（正規職員）</td></tr>
<tr><td>イ　受験応募者数</td><td colspan="4">33 名(男性 11 人，女性 22 人)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ウ　採用試験実施日
及び受験者数</td><td>第１次試験
(書類選考)</td><td>12 月　３日(火)</td><td rowspan="2">受験者数</td><td>33 人</td></tr>
<tr><td>第２次試験
(個別面接)</td><td>12 月 15 日(日)</td><td>15 人</td></tr>
<tr><td>エ　採用候補者選考委員会</td><td colspan="4">12 月３日(火)，12 月 15 日(日)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オ　採用年月日・人数</td><td>採用年月日</td><td colspan="3">令和７年４月１日</td></tr>
<tr><td>採用人数</td><td colspan="3">５人(男性２人，女性３人)</td></tr>
</table>

② 職員の育成

組織力向上や資質向上に向けた職員研修の実施による人材育成に努めた。

<table>
<tr><td rowspan="10">階層別職員研修の実施(外部研修)</td><td rowspan="5">新任職員</td><td>実施日</td><td>５月 15 日(水)～５月 16 日(木)</td></tr>
<tr><td>人　数</td><td>１人（新規採用の正規職員）</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>県社協主催の社会福祉施設等新任職員研修会に出席</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td>２月７日(金)</td></tr>
<tr><td>人　数</td><td>１人（新規採用の正規職員）</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>県市町村社協連協主催の市町村社協職員研修会に出席</td></tr>
<tr><td rowspan="5">管理職員</td><td>実施日</td><td>11 月１日(金)</td></tr>
<tr><td>人　数</td><td>３人（総務課長，地域福祉課長，総務課参事）</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>県社協主催の社会福祉施設長等管理職員研修会に出席</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td>11 月 22 日(金)</td></tr>
<tr><td>人　数</td><td>２人（総務課長，総務課参事）</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td>県市町村社協連協主催の人材確保・育成・定着支援研修会に出席</td></tr>
</table>

③ 役職員等の研修

当会役職員を対象に，内部研修を実施するとともに外部機関・団体等が実施する研修会等に出席するなどし，役職員の資質と専門性の向上に努めた。

研修内容	実施回数	延べ出席者数
ア　役員等研修会	4回	6人
イ　職員内部研修会（全体研修2回，課内研修18回）	20回	105人
ウ　県社協等外部機関団体等が主催する研修会	106回	261人

(10) 職員の労務管理，健康管理

労働法令等に基づき，適切な職員の労務と健康の管理等を行った。

ア　勤怠管理システムによる労務管理の実施	随時
イ　職員の定期健康診断(ストレスチェック含む)の実施	1回(職員72人)

(11) 経営の透明性確保に係る情報公開

当会の運営状況及び財務状況等に係る情報を公開し，経営の透明性の確保等に努めた。

ア　社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムによる情報公開	7月以降
イ　当会ホームページによる情報公開(定款，予算，決算等)	随時

(12) 地域における公益的な取り組みの実施

市民を対象に各種講座を開催し，市民の福祉向上や健康増進に努めた。

つぼと健康講座【全3回】	日　時	10月22日(火)・10月29日(火)・11月5日(火) 13時50分～15時20分
	場　所	リナシティかのや 情報研修室
	延参加人数	150人(1回あたり平均50人)
	講　師	泊　平八郎 氏(鹿児島鍼灸専門学校同窓会会長)
シニア向け音楽療法講座【全3回】	日　時	10月15日(火)・12月5日(木)・1月28日(火) 14時00分～15時30分
	場　所	リナシティかのや リハーサル室
	延参加人数	72人(1回あたり平均24人)
	講　師	坂中　慈子 氏(日本音楽療法学会認定音楽療法士)
傾聴講座【全3回】	日　時	11月16日(土)・11月23日(土)・12月7日(土) 10時30分～11時30分
	場　所	社会福祉会館（大会議室）
	延参加人数	60人(1回あたり平均20人)
	講　師	江並　智子 氏(NPO法人かごしまメンタルパートナー協会理事長)
わかりやすい相続に関する講座【全3回】	日　時	10月22日(火)・10月29日(火)・11月5日(火) 10時00分～11時30分
	場　所	リナシティかのや 情報研修室
	延参加人数	93人(1回あたり平均31人)
	講　師	永野　博己　氏(鹿児島県司法書士会鹿屋支部 司法書士)

楽しい遊び でからだ 元気講座 【全３回】	日　　時	11 月 6 日(水)・11 月 13 日(水)・11 月 20 日(水) 10 時 00 分～11 時 30 分
	場　　所	リナシティかのや フィットネスホール
	延参加人数	87 人(１回あたり平均 29 人)
	講　　師	鎌田　泰代　氏・齊野平　聡　氏・村山　康ニ　氏 (鹿児島県レクリエーション協会指導員)

(13) 福祉人材等の育成

福祉人材等育成の一環として，看護師を目指す学生に，高齢者サロン関係者等の協力のもと適切な指導や実習の場の提供を行った。

学校名	内　容	実施日（８日間）
鹿屋看護専門学校 （１年生 32 人）	地域・在宅看護論現場実習 (当会が実施する輝北やすらぎサロンや高齢者サロン等での実習)	７月　１日(月)・７月　２日(火) ７月　４日(木)・７月　５日(金) ７月　８日(月)・７月　９日(火) ７月 11 日(木)・７月 12 日(金)

(14) 鹿屋市民生委員児童委員協議会事務局業務の受託

市民生委員児童委員協議会の事務局業務を受託し，同会の円滑な運営に努めた。

業務内容	業務実績
ア　会務の運営	会計，庶務，表彰等
イ　会議等の開催	総会(１回)，役員会(12 回)，会長会(10 回)，会長・副会長会(１回)，地域交流会企画委員会(１回)，監事監査(１回)
ウ　研修の実施	全体研修会(２回)，会長・副会長研修会(１回)，会計担当者研修会(１回)，会長・主任児童委員との合同研修会(１回)

(15) 大隅地区社会福祉協議会連絡協議会事務局の運営

大隅地区内４市５町の社会福祉協議会の相互連携や地域福祉活動の充実を図ることを目的に，活動する大隅地区社会福祉協議会連絡協議会の事務局の運営に努めた。

業務内容	業務実績
ア　会務の運営	会計，庶務
イ　会議等の開催	総会(１回)，事務局長会(１回)
ウ　研修の実施	全体研修会(２回)，情報交換会(１回)

(16) 関係機関・団体等との連携・協調

当会の運営及び事業実施のため，関係機関・団体との連携・協調に努めた。

２　社会福祉施設等の管理運営等

地域福祉活動の拠点施設として，適切かつ効率的な管理・運営に努めた。

(１) 鹿屋市社会福祉会館の管理運営

① 利用件数　　301 件（対前年度比　16 件の減）
② 利用者数　3,112 人（対前年度比　560 人の増）

③ **区分別利用件数及び利用者数**

区分	利用件数	利用者数	区分	利用件数	利用者数
社協関係	215件	2,234人	行政関係	0件	0人
福祉団体	38件	390人	その他	2件	12人
福祉協力団体	46件	476人	合計	301件	3,112人

④ **施設の維持管理**

・１階大会議室中央部分冷暖房修繕工事
・２階ドライバー室及び小会議室１冷暖房修繕工事
・２階女性トイレ入口ドア取替工事
・２階ヘルパー室西側ブラインド取替工事

３　鹿屋市指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者を含めた，すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み，社会参加活動を行うと共に，誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設の指定管理者として，サービスの質の向上と運営の効率化を図りながら，適切な運営管理に努めた。

（１）鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① **利用者数　22,507人（内訳は下記のとおり）**

区分	年間利用者数(対前年度比)	区分	年間利用者数(対前年度比)
社協関係	2,010人(965人の減)	温泉公衆浴場	16,696人(　313人の減)
福祉団体	199人(178人の減)	やすらぎサロン	2,307人(　754人の減)
福祉協力団体	261人(　6人の増)	その他（一般）	810人(　50人の減)
市役所関係	224人(195人の減)	合　計	22,507人(2,449人の減)

② **温泉入浴サービス事業の実施（温泉公衆浴場利用実績）※（　）は前年度対比**

営業日数及び時間	307日（4～9月）9：00～20：00，（10～3月）9：00～19：00			
利用実績	１回券	大人	男	6,709人(111人の増)
			女	9,439人(347人の減)
		子供	男	68人(20人の減)
			女	281人(169人の増)
	１日券	大人	男	1人(　1人の増)
			女	10人(62人の減)
		子供	男	0人(±0)
			女	2人(　2人の増)
	乳幼児（無料）		男	105人(105人の増)
			女	81人(313人の減)
	合　計			16,696人(313人の減)
１日平均利用者数	54人（4人の減）			

③　輝北ふれあいセンター運営協議会の開催（１回）

日　　時	令和６年７月 29 日（月）14：00～15：30
場　　所	輝北ふれあいセンター 会議室
協 議 内 容	各事業実績報告等及びやすらぎ市場・食堂について
出 席 者 数	委員５人・鹿屋市２人・社協２人

④　きほくやすらぎ食堂，きほくやすらぎ市場の営業

区分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
内　　容	食事(昼食)の提供	地元農産物等の販売
営 業 日 数	19 日（毎週：１回）	87 日（毎週：３回）
利 用 者 数	441 人	897 人
売　　上　　金	284,400 円	382,740 円
委　　託　　先	あじさい(輝北地域住民有志のグループ)	NPO 法人 輝北キラキラ館
備　　考	**令和６年８月末で終了**	**令和６年 12 月末日で終了**

⑤　その他

ア　高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進（随時）

イ　輝北ふれあいセンター多目的広場の利用促進（高齢者クラブ・GG 協会）等

4　介護サービス事業の経営（介護保険事業，障害者福祉サービス事業）

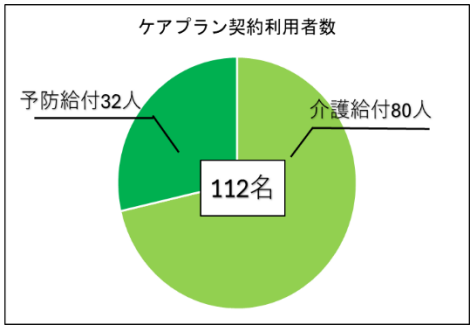
（１）居宅介護支援事業の実施【輝北居宅介護支援事業所】

高齢者等が居宅において，適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され，自立した質の高い日常生活が送れるように，介護相談及び介護計画書（ケアプラン）の作成等の支援を行った。

①　事業所職員数　　４人（対前年度比１人の減）

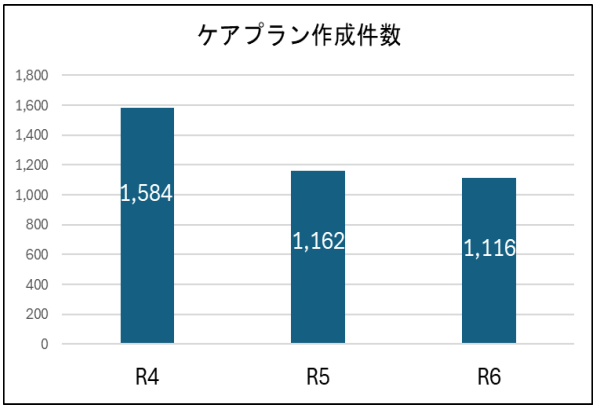
②　利用者実人数　　112 人（対前年度比６人の減）

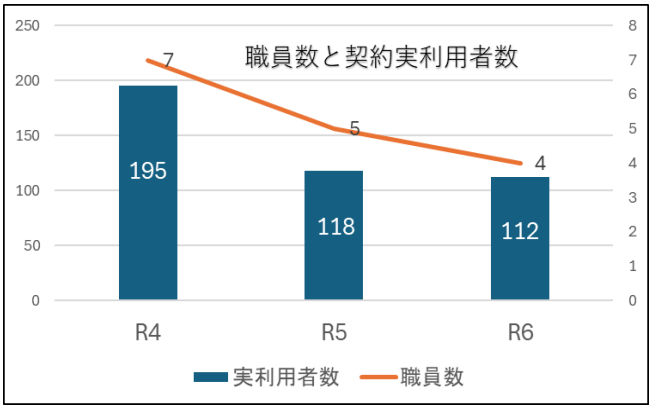
区　分	実人数
予 防 給 付	32 人（対前年度比　±0 人）
介 護 給 付	80 人（対前年度比 6 人の減）
合　　計	112 人（対前年度比 6 人の減）



③　介護度別ケアプラン作成件数　1,116 件（対前年度比 46 件の減）

区　分		件数
要　支　援	1	114 件（対前年度比±0 件）
	2	166 件（対前年度比 4 件の減）
小　　計		280 件（対前年度比 4 件の減）
要　介　護	1	165 件（対前年度比 21 件の減）
	2	212 件（対前年度比 6 件の減）
	3	112 件（対前年度比 14 件の増）
	4	169 件（対前年度比 38 件の減）
	5	132 件（対前年度比 17 件の増）
小　　計		790 件（対前年度比 34 件の減）
介護予防・日常生活支援総合事業対象者		46 件（対前年度比 8 件の減）
合　　計		1,116 件（対前年度比 46 件の減）





④　住宅改修理由書作成件数　　５件（対前年度比　９件の減）

⑤　「オレンジカフェ・きほく」の開催（輝北居宅介護支援事業所：輝北支所）

認知症の人とその家族，専門職及び地域住民などが集まり，互いに交流する場等として，10 月から毎月１回「オレンジカフェ・きほく」を実施した。

ア　実施回数　　６回

イ　延べ参加者　140 人

ウ　主な内容　　茶話会，簡単な体操，認知症に関する講話など

	開催日	時間	場所	参加人数
1	令和６年 10 月 17 日（木）	10：00 ～ 11：30	輝北ふれあいセンター内 エントランスホール	29 名
2	令和６年 11 月 21 日（木）			20 名
3	令和６年 12 月 19 日（木）			25 名
4	令和７年　１月 16 日（木）			19 名
5	令和７年　２月 19 日（水）			23 名
6	令和７年　３月 19 日（水）			24 名

（２）訪問介護事業の実施【本所分室】

サービス利用者が，その有する能力に応じ，自立した日常生活を営むことができるよう，訪問介護員が利用者の居宅において，入浴・排泄及び食事等の身体介護，調理・洗濯及び掃除等の家事援助並びに日常生活に関する相談及び助言，その他の生活全般にわたる援助及び支援を行った。

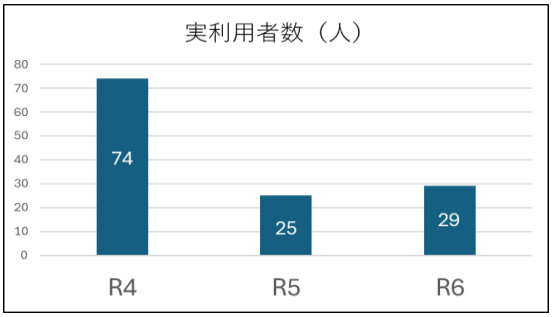
また，本会の介護保険事業見直し方針に基づき，効率的なサービスが受けられるよう，紀北地域以外に居住の利用者を居住地近隣の他の事業所へ移管する手続きを行った。

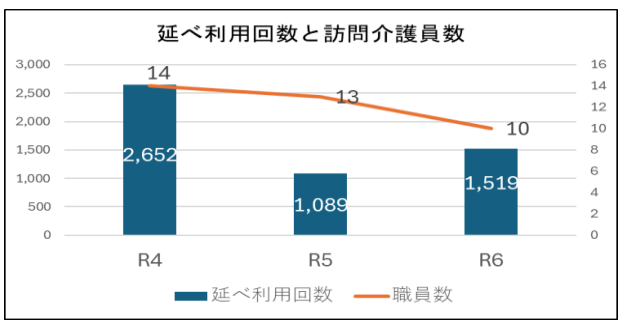
① **訪問介護事業所職員数**　　**10 人**（対前年度比　３人の減）
② **訪問介護利用者実人数**　　**29 人**（対前年度比　５人の増）
③ **訪問介護利用回数**　　**1,519 回**（対前年度比　430 回の増）
④ **介護度別利用者数及び利用回数**

区分		年間			月平均	
		実人数	延べ人数	利用延べ回数	利用延べ人数	利用延べ回数
介護予防・日常生活支援総合事業対象者		3 人	43 人	223 回	3.9 人	18.6 回
①小　計		**3 人**	**43 人**	**223 回**	**3.6 人**	**18.6 回**
要　支　援	1	3 人	29 人	123 回	2.4 人	10.2 回
	2	3 人	32 人	179 回	2.7 人	14.9 回
②小　計		**6 人**	**61 人**	**302 回**	**5.1 人**	**25.1 回**
要　介　護	1	6 人	63 人	336 回	5.3 人	28.0 回
	2	7 人	57 人	460 回	4.8 人	38.3 回
	3	6 人	31 人	190 回	2.6 人	15.8 回
	4	1 人	2 人	8 回	0.2 人	0.7 回
	5	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
③小　計		**20 人**	**153 人**	**994 回**	**12.8 人**	**82.8 回**
合　計（①+②+③）		**29 人**	**257 人**	**1,519 回**	**21.4 人**	**126.6 回**

⑤ **サービス内容別利用回数**

区分	年間延べ利用回数	月平均延べ利用回数
身体介護中心	167 回	13.9 回
身体介護・生活援助	313 回	26.1 回
生活援助中心	1,039 回	86.6 回
合　計	1,519 回	126.6 回



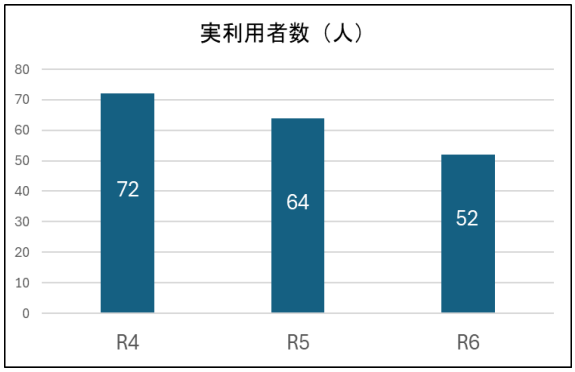


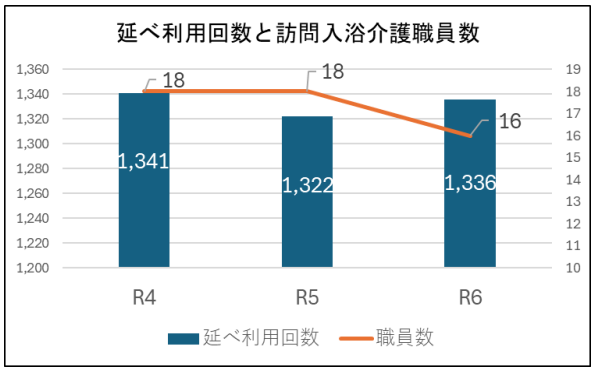
（３）訪問入浴介護事業の実施【本所分室】

サービス利用者の心身の特性を踏まえながら，その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう，看護職員及び介護職員が訪問入浴車で居宅を訪問し入浴の介助を行った。

① **訪問入浴介護事業所職員数**　16 人（対前年度比　２人の減）
② **訪問入浴車保有台数**　３台（対前年度比　増減なし）
③ **訪問入浴介護利用者実人数**　52 人（対前年度比　12 人の減）
④ **年間訪問入浴介護利用回数**　1,336 回（対前年度比　14 回の増）
⑤ **介護度別利用者数及び利用回数**

区分	年間			月平均	
	実人数	延べ人数	利　用延べ回数	利　用延べ人数	利　用延べ回数
要介護１	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
要介護２	4 人	13 人	37 回	1.1 人	3.1 回
要介護３	5 人	22 人	126 回	1.8 人	10.5 回
要介護４	22 人	113 人	526 回	9.4 人	43.8 回
要介護５	21 人	119 人	647 回	9.9 人	53.9 回
合　　計	52 人	267 人	1,336 回	22.3 人	111.3 回





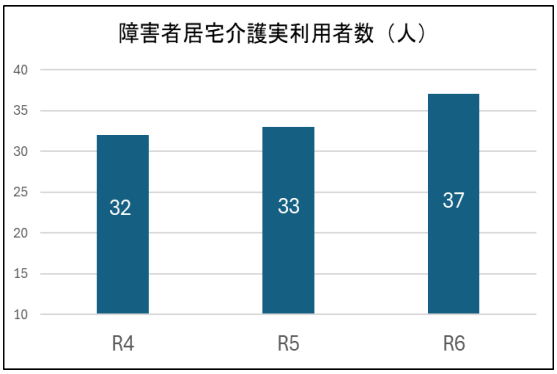
５　障害者福祉サービス事業の実施

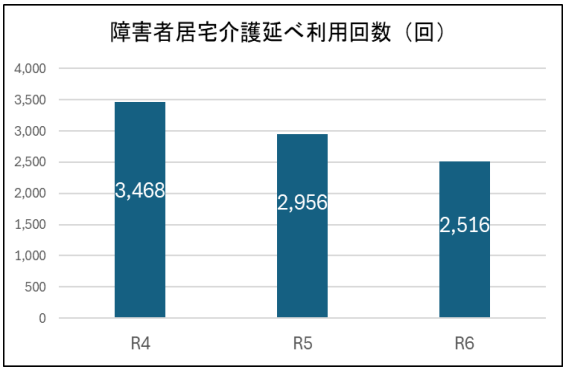
サービス利用者が居宅において安心して日常生活を営むことができるよう，訪問介護員等が入浴・排泄及び食事等の身体介護，調理，洗濯及び掃除等の家事援助，生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援などの生活全般にわたる支援を行った。

（１）障害者居宅介護事業の実施

① **居宅介護事業所職員数**　10 人（対前年度比　１人の減）
② **居宅介護利用者実人数**　37 人（対前年度比　４人の増）〔内訳：身体 15 人，知的 4 人，精神 18 人〕
③ **居宅介護利用回数**　2,516 回（対前年度比　440 回の減）
④ **サービス内容別利用者数及び利用回数**

区　分	年　間			月平均	
	実人数	延べ人数	利　用延べ回数	利　用延べ人数	利　用延べ回数
身体介護中心	7 人	47 人	437 回	3.9 人	36.4 回
家事援助中心	30 人	235 人	2,079 回	19.6 人	173.3 回
通院等介助	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
合　　計	37 人	282 人	2,516 回	23.5 人	209.7 回





（２）同行援護事業の実施（視覚障がい者に対する外出支援等）

区　分	年　間			月平均	
	実人数	延べ人数	利　用延べ回数	利　用延べ人数	利　用延べ回数
実績	8 人	74 人	538 回	6.2 人	44.8 回
対前年度増減	＋1	△6	△56	△0.5	△4.7

（３）障害者移動支援事業の実施

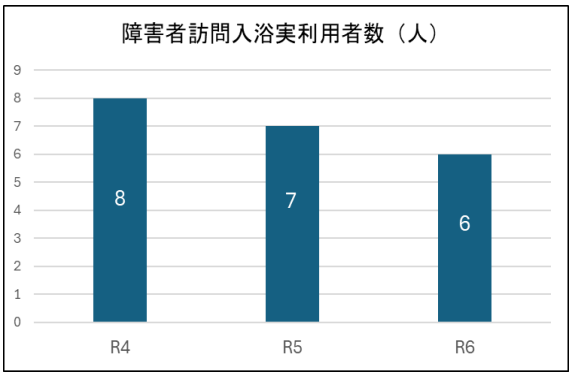
区　分	年　間			月平均	
	実人数	延べ人数	利　用延べ回数	利　用延べ人数	利　用延べ回数
実績	2 人	5 人	10 回	0.4 人	0.8 回
対前年度増減	△1	△3	△2	△0.3	△0.2

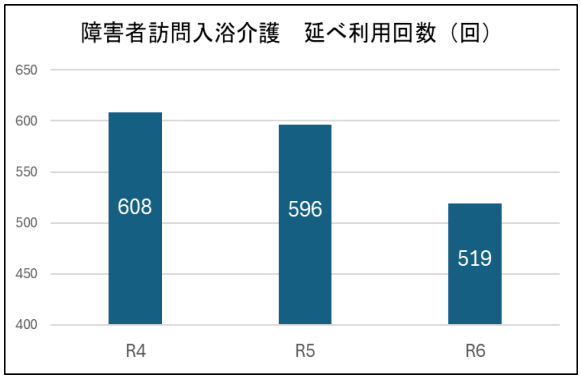
（４）障害者訪問入浴サービス事業の実施

① **訪問入浴サービス従事者数**　　**16 人**（対前年度比　２人の減）

② **訪問入浴車保有台数**　　**３台**（対前年度比　増減なし）

区　分	年　間			月平均	
	実人数	延べ人数	利　用延べ回数	利　用延べ人数	利　用延べ回数
実績	6 人	67 人	519 回	5.6 人	43.3 回
対前年度増減	△1	△16	△77	△1.3	△6.5





6　権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等で，十分な判断能力がない方が，成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して自身の権利擁護及び住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることが出来るよう，制度利用に係る支援を行った。

（１）中核機関としての権利擁護推進センターの運営

地域における権利擁護連携ネットワークの中核機関として，成年後見制度利用相談窓口の設置や制度説明を行うなど利用促進を図った。

①　権利擁護セミナーの開催

日　　時	令和６年 12 月 10 日（火）13：30～15：30
場　　所	鹿屋市社会福祉会館　大会議室
参 加 者	19 事業所　30 人 （対象：市内包括支援センター及び居宅介護支援事業所職員）
内　　容	「福祉サービス利用支援事業の概要と実績」 講師：鹿屋市権利擁護推進センター専門員 「成年後見制度の仕組みと手続きについて」 講師：法テラス鹿屋法律事務所　弁護士　重富　琢也氏

②　市民後見人フォローアップ研修会の開催

日　　時	令和７年２月５日（水）　19：00～21：00
場　　所	鹿屋市社会福祉会館　大会議室
参 加 者	平成 30 年度・令和元年度　市民後見人養成講座修了者 13 人
内　　容	「鹿屋市における権利擁護の現状について」 講師：鹿屋市役所保健福祉部福祉政策課 主幹兼障がい者福祉政策係長　本田　正吾氏 「市民後見人の実務について」 講師：法テラス鹿屋法律事務所　弁護士　重富　琢也氏

③　権利擁護制度の広報周知活動

ア　大浦町敬老祝賀会への参加

日　　時	令和６年９月16日（月）10：00～12：00
場　　所	大浦町公民館
参 加 者	約50人（町内会関係者及び大浦町内の高齢者）
題　　目	「鹿屋市権利擁護推進センターと成年後見制度について」

イ　介護福祉施設職員への研修の実施

日　　時	【１回目】令和６年10月11日（金）18：00～19：00 【２回目】令和６年11月８日（金）16：30～18：00
場　　所	【１回目】青い鳥デイサービス 【２回目】グループホーム　ことぶき太陽の家
参 加 者	【１回目】12人　【２回目】10人
題　　目	「鹿屋市権利擁護推進センターについて」

④　大隅地域における中核機関意見交換会の実施

日　　時	【第１回】令和６年７月22日（月）14：00～16：00 【第２回】令和６年12月３日（火）14：00～16：00
場　　所	【第１回】鹿屋市社会福祉会館　大会議室 【第２回】志布志市健康ふれあいプラザ会議室
参 加 者	【第１回】４人 【第２回】２人

⑤　全国権利擁護支援ネットワークへの参加

日　　時	【通常総会】令和６年６月22日（土）14：00～16：00 【九州・沖縄ブロック合同研修会】令和６年８月23日（金）16：00～17：30
場　　所	鹿屋市社会福祉会館（どちらもオンライン形式）
参 加 者	【通常総会】１人 【九州・沖縄ブロック合同研修会】４人

⑥　鹿屋市高齢者虐待等防止ネットワーク推進協議会への参加

日　　時	令和６年７月19日（金）15：00～16：30
場　　所	鹿屋市役所３階　全員協議会室
参 加 者	２人

⑦　鹿屋市権利擁護実務者会議への参加

日　　時	【第１回】令和６年４月17日（水）13：30～14：30 【第２回】令和６年８月19日（月）13：30～14：30 【第３回】令和６年12月20日（金）13：30～14：30
場　　所	【第１回】鹿屋市役所　別館会議室 【第２回・第３回】鹿屋市役所　401会議室
参 加 者	【第１回】２人　【第２回】３人　【第３回】３人

（２）福祉サービス利用支援事業の実施

自分ひとりでは判断が困難な方に対して，「福祉サービスの利用援助」，「日常的金銭管理」，「書類等の預かり」などのサービスを提供し，住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう支援を行った。

①　年間実績

前年度末利用人数	64 人
新規契約人数	13 人
解約・終了人数	18 人
利用人数	59 人（令和７年３月 31 日現在）
年間支援延べ人数	82 人
年間支援延べ回数	788 回
相談件数	130 件

②　第１回福祉サービス利用支援事業専門員会議

日　　時	令和６年８月９日(金)　13：15～16：00
場　　所	鹿児島県社会福祉協議会　別館会議室
参　加　者	１人

③　福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会

日　　時	令和６年 12 月６日(金)　13：10～15：40
場　　所	リナシティかのや２階　情報研修室
参 加 者	４人

④　第２回福祉サービス利用支援事業専門員会議及び専門員セミナー

日　　時	令和７年２月 20 日(木)　11：00～15：10
場　　所	鹿児島県社会福祉協議会　別館会議室
参 加 者	１人

（３）成年後見業務の実施

家庭裁判所からの選任を受け，判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面の支援を行う法人後見業務を行った。

①　年間実績

前年度末受任人数	８人
新規受任人数	１人（後見１人）
後見終了人数	１人（後見１人）
令和７年度末受任人数	８人（後見６人，保佐２人）
延受任人数	26 人（平成 26 年度～令和６年度）
年間支援件数	273 件（財産管理，身上保護，死後事務等）
相談件数	29 件（制度説明，後見事務等）

② 持続可能な権利擁護支援モデル事業実施自治体等連絡会への参加

日　　時	【第１回】令和６年　９月 20 日（金）　10：00～11：30 【第２回】令和６年 11 月 15 日（金）　10：00～11：30 【第３回】令和７年　１月 17 日（金）　10：00～11：30 【第４回】令和７年　３月　７日（金）　10：00～11：30
場　　所	鹿屋市社会福祉会館　大会議室及び小会議室１（オンライン形式）
参 加 者	各連絡会２人ずつ 延べ８人

③ 成年後見制度利用体制整備研修（基礎研修・応用研修）

日　　時	【基礎研修】（１日目）令和６年 10 月１日（火）9：20～16：50 （２日目）令和６年 10 月３日（木）9：20～16：35 【応用研修】（１日目）令和７年１月 27 日（月）9：30～16：50 （２日目）令和７年１月 29 日（水）9：30～16：50 （３日目）令和７年２月　３日（月）9：30～16：35
場　　所	鹿屋市社会福祉会館　小会議室１（オンライン形式）
参 加 者	各研修１人ずつ　延べ５人

④ 家事関係機関との連絡協議会への参加

日　　時	令和６年 11 月 28 日（木）10：00～11：30
場　　所	鹿児島地方裁判所６階　大会議室
参 加 者	１人
内　　容	後見等事務報告書等に関する統一書式について　他

7　肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

障がい者等，障がい児の保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ，必要な情報の提供等の便宜を供与することや，権利擁護のために必要な援助を行うと共に，地域における相談支援機能の強化や，地域の関係機関の連携強化，社会資源の開発等を推進することにより障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう各事業に取り組んだ。

（１）障害者相談支援事業の実施

① 総合的・専門的な相談支援

ア　地区別相談実績

区分	鹿　屋	垂　水	肝　付	東串良	錦　江	南大隅	計
相談支援実人数	362	28	38	9	15	4	456
相談支援延人数	3,625	381	386	145	64	10	4,611

イ　年度別相談実績

区分	分類	令和４年度		令和５年度		令和６年度	
		件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
相談実人数【障害別】	身体障害	84	41	66	△18	46	△20
	重症心身障害	7	2	3	△4	3	0
	知的障害	109	42	70	△39	55	△15
	精神障害	231	90	187	△44	136	△51
	発達障害	42	33	11	△31	5	△6
	高次脳機能障害	2	0	1	△1	0	△1
	その他	93	△138	160	67	211	51
	合　計	568	70	498	△70	456	△42
相談延件数【方法別】	訪　　問	1,115	56	598	△517	445	△153
	来　　所	270	△66	289	19	293	4
	同　　行	416	92	267	△149	200	△67
	電　　話	1,367	△879	1,505	138	1,585	80
	メール	115	△30	156	41	68	△88
	個別支援会議	111	3	115	4	141	26
	関係機関	1,486	390	1,642	156	1,871	229
	その他	30	△13	25	△5	8	△17
	合　計	4,910	△447	4,597	△ 313	4,611	14
相談延件数【内容別】	福祉サービス利用等	2,126	△52	1,548	△578	1,634	86
	障害者症状の理解	25	8	101	76	355	254
	健康・医療	750	130	637	△113	582	△55
	不安の解消・情緒安定	620	△290	929	309	957	28
	保育・教育	160	△13	77	△83	45	△32
	家族関係・人間関係	280	△68	88	△192	122	34
	家計・経済	737	△57	563	△174	544	△19
	生活技術	1,159	△127	831	△328	930	99
	就労	95	△29	106	11	81	△25
	社会参加・余暇支援	43	△11	37	△6	30	△7
	権利擁護	37	△19	32	△5	48	16
	その他	607	△396	834	227	55	△779
	合　計	6,639	△924	5,783	△856	5,383	△400

② 権利擁護・虐待の防止の取組

ア 相談件数

・成年後見制度利用支援事業の利用に関する支援・相談件数　19件
・虐待防止に関する相談支援・相談対応件数　25件
・差別解消に関する相談支援・相談対応件数　３件

イ 虐待通報件数　３件

ウ　権利擁護（虐待防止）研修会の実施

・日時，場所　　令和６年11月28日（木）　9：30～11：40　リナシティ大ホール
・内　　容　　テーマ「人権擁護研修ワークショップ」
　　講師：社会福祉法人　天上会　前田 智史 氏
・対　　象　　福祉サービス事業所（参加者80人）

エ　関係会議等への参加

・鹿屋市権利擁護実務者会議（３回）
・権利擁護関係研修会等参加

（２）相談支援事業の実施

①　地域の相談支援体制強化の取組

ア　地域の相談支援事業者に対する支援，人材育成の取組

・相談支援事業への指導，助言件数　23件
・相談支援事業所訪問　　管内22事業所
・機能強化型（継続）サービス利用支援費加算等に関する事業構築検討会の開催
　２回（７事業所）

イ　令和６年度個別支援会議等実施状況

内　容	鹿屋市	垂水市	肝付町	東串良町	錦江町	南大隅町	合計
個別支援会議(回)	67	15	5	1	0	0	88
サービス利用会議(回)	43	3	4	1	2	0	53

ウ　研修の開催

◇相談支援員研修（鹿児島県相談支援ネットワーク会議）
・開 催 日：令和６年12月11日（水）
・研修内容：「災害現場の体験レポート」，「相談支援事業の事業継続計画について」
・参 加 者：管内相談員

エ　地域の相談機関等との連携強化の取組

◇関係機関との連携協議
・令和６年７月12日　大隅児童相談所との勉強会　「子供のアドボカシー」
◇関係機関等会議出席
・大隅障害者地域連絡協議会等出席　計26回

オ　学校や企業等との情報交換，相談・助言等

◇就学支援会議等委員
・鹿屋市教育支援委員会
・肝付町就学相談会
◇関係事業所研修講師等
・ 令和６年９月６日　相談支援専門員研修（協議会・地域課題等）
・ 令和６年９月27日　人権擁護委員研修（機関センター関係）

・ 令和６年９月30日　垂水市介護支援専門員研修(障害福祉全般・基幹センター関係)
・ 令和６年10月15日　鹿屋南部地区介護支援専門員研修（障害福祉全般・基幹センター関係）
・ 令和７年２月13日　相談支援従事者現任研修（協議会・地域課題等）
・ 令和７年２月20日　相談支援従事者現任研修（協議会・地域課題等）

②　地域移行・地域定着の促進の取組

ア　当事者会（心のはね会）の開催

内容	回数	延べ参加者
当事者による共感，居場所つくり情報共有	20回	40人

イ　精神障がい者を支える家族の集い（県保健所主催）参画

日時	令和７年２月21日	場所	大隅地域振興局

ウ　関係機関会議出席　計７回

③　住宅入居等支援事業（居住サポート事業）

賃貸契約による住宅への入居を希望しているが，保証人がいない等の理由により入居が困難な障がい者に対し入居に必要な調整等に係る支援を行うとともに，家主等への相談・助言を通じて障がい者等の地域生活を支援した。

・年間相談支援件数　211件
・入居等支援事業実施状況

内　容	鹿　屋	垂　水	肝　付	東串良	錦　江	南大隅	計
実利用者（人）	6	1	4	0	0	0	11
入居支援（件）	4	0	3	0	0	0	7
施設・精神科から	0	0	0	0	0	0	0
自宅から	2	0	1	0	0	0	3
24時間支援登録者	0	0	0	0	0	0	0

（３）重層的支援体制整備事業を通じた包括的支援体制構築への参画の取組

①　重層的支援体制整備事業調整会議　令和６年10月31日
②　重層的支援会議　８回

（４）地域生活支援拠点等の機能充実に向けた取組

①　相談機能

ア　ワンストップの相談窓口の実施
イ　携帯電話による24時間の緊急相談体制実施
ウ　令和６年度時間帯別相談支援件数

区分	早 朝	午 前	午 後	夜 間	深 夜	合 計
件数	13	2,013	2,566	37	8	4,637

※早朝（４～８時），午前（８～12時），午後（12～18時），夜間（18～22時），深夜（22～４時）

② 地域生活支援拠点機能再構築に向けた取組

ア 肝属地区障がい者自立支援協議会 地域生活支援拠点部会

・「肝属地区障がい者地域生活支援拠点等事業ガイドライン（案)」の策定

部会での協議状況 計７回（令和６年度：６回，令和５年度：１回）

（５）その他

① 医療的ケア児の支援体制の整備

・医療的ケア児コーディネーターの配置(３人)	支援数	10件
・肝属地区障害者自立支援協議会医療的ケア児部会の設置	開催数	３回
・医療的ケア児等コーディネーター連絡会議の開催	参加者	13人
・関係機関連携会議（肝付町教育委員会医ケア児部会)	開催数	１回

② 肝属地区障がい者自立支援協議会の企画・運営

運営委員会及び全体会で指定された地域課題について，関係機関による専門部会を設置することにより，解決・改善策等を協議する。

③ 災害関係

日時	内容	参加人数
令和６年８月７日(水)	医療的ケア児避難訓練参加	２人
令和６年12月15日(日)	鹿屋市「災害に備えた地域ミーティング」参加	２人

④ 研修受講

医療的ケア児等コーディネーター研修受講者 ２人

（６）肝属地区障がい者自立支援協議会に関する業務

肝属地区障がい者自立支援協議会の事務局業務を担い，同会の円滑な運営に努めた。

（７）肝属地区障がい者基幹相談支援センター運営協議会の開催

日時	場所	協内容	参加人数
令和６年12月18日(水)	社会福祉会館 大 会 議 室	センターの運営状況及び体制について	33人

（８）その他の啓発活動等

・肝属地区障がい者基幹相談支援センターだよりの発行 年４回（約550部×４回）

配布先：関係機関，福祉サービス事業所，小中学校，幼稚園，保育所等

８ 生活福祉資金貸付事業

（１）県生活福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯，障がい者世帯，高齢者世帯，失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため，生活福祉資金の貸し付けを行った。

① 本則貸付分

ア　令和６年度貸付分実績

・相談件数：156 件（電話：90 件，来所：53 件，訪問：13 件）
・貸付件数：４件　（前年度比２件減）
・貸付金額：300,000 円（前年度比 △1,736,000 円）

資　金　種　類	件　数	金　額
福祉費（その他一時的経費）	３件	216,000 円
緊急小口資金	１件	84,000 円
合　　計	４件	300,000 円

イ　償還状況

区　分	元　金	利　子	延滞利子	合　計
前期末貸付残高	32,183,498 円	655,138 円	15,310,420 円	48,149,056 円
当年度貸付額	300,000 円	0 円	0 円	300,000 円
当年度償還額	3,135,350 円	30,291 円	205,237 円	3,370,878 円
当年度末未償還額	29,348,148 円	624,847 円	15,105,183 円	45,078,178 円

②　新型コロナウイルス特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業等から収入が減少し，生活に困窮している世帯の生活を支援するため，令和２年３月から令和４年９月末までを申請受付期間として貸付が実施された。

資金区分	対象者	貸付上限額	措置期間	償還期間	貸付利子
緊急小口資金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて，休業等による収入の減少があり，緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	20 万円以内	１年以内	２年以内	無利子
総合支援資金	新型コロナウイルスの影響を受けて，収入の減少や休業等により生活に困窮し，日常生活の維持が困難となっている世帯	２人以上世帯は月 20 万円以内，単身世帯は月 15 万以内で，それぞれ３月以内	１年以内	10 年以内	無利子

ア　償還状況

区　分	元　金	延滞利子	合　計
前期末貸付残高	367,826,350円	266,778円	368,093,128円
当年度償還免除額	106,464,040円	0円	106,464,040円
当年度償還額	21,622,548円	0円	21,622,540円
当年度末未償還額	239,739,762円	266,778円	240,006,540円

イ　償還免除

特例貸付の償還について，一定の要件を満たした場合は，貸付金の一部又は全部の償還免除が可能なため，当年度も申請に基づく償還免除が実施された。

資金種類	令和６年度
	金　額
緊急小口資金	10,202,790円
総合支援資金	96,261,250円
合　　計	106,464,040円

ウ　新型コロナウイルス特例貸付償還猶予

特例貸付の償還が開始されたが，家計の状況などにより継続した償還が困難な状況にある借受人からの償還猶予（原則１年）に係る相談・申請への対応を行った。

○償還猶予の状況

資金種類	令和６年度	
	件　数	金　額
緊急小口資金	28件	5,250,000円
総合支援資金（初回）	21件	11,100,000円
総合支援資金（延長）	８件	4,200,000円
総合支援資金（再貸付）	８件	4,200,000円
合　　計	65件	24,750,000円

※総合支援資金(再貸付)については令和７年１月より償還開始となった。

エ　特例貸付償還猶予後猶予及び猶予後免除

特例貸付償還猶予を受けた借受人で，猶予期間終了後も引き続き償還が困難な状況が想定される場合に猶予期間の延長または償還を免除する相談対応に取り組んだ。

○猶予後猶予及び猶予後免除の状況

資金種類			令和６年度	
			件　数	金　額
猶予後猶予	緊急小口資金		５件	850,000円
	総合支援資金	初　回	２件	900,000円
		延　長	０件	0円
		再貸付	０件	0円
猶予後猶予合計			７件	1,750,000円

資金種類			令和６年度	
			件　数	金　額
猶予後免除	緊急小口資金		10 件	2,000,000 円
	総合支援資金	初　回	７件	4,050,000 円
		延　長	２件	1,050,000 円
		再貸付	０件	0 円
猶予後免除合計			19 件	7,100,000 円

（２）地域くらし・ささえあい事業の実施

新型コロナ特例貸付借受人に対するアウトリーチにより，生活課題を把握し，課題解決に向け，関係機関と連携しながら寄り添った支援を行った。

①　アウトリーチ活動の取組状況

新型コロナウイルス特例貸付の返済が滞っている世帯や，一定の要件を満たし，償還が免除された世帯などを中心に電話や訪問などによるアウトリーチ活動を行った。

・アウトリーチ活動を行った借受世帯：408 世帯（延件数：804 件）

アウトリーチ活動延べ件数内訳	件数
①月内に終結せず次月に継続	430 件
②アウトリーチにより一時的な問題が解決したことによる終結	149 件
③他機関へ適切な繋ぎを行ったことによる終結	12 件
④連絡が取れない，途絶えたことによる終結	127 件
⑤介入の希望，必要がないことによる終結	86 件
合　　計	804 件

（３）鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業の実施

①　令和６年度の貸付件数　０件

②　償還状況（令和７年３月 31 日現在）

・未完済借受人：９人

・償還があった借受人：２人

・償還件数：19 件（前年度比１件の増）

・償還金額：106,000 円（前年度比 36,127 円の増）

・償還免除人数：３人

・償還免除額：844,098 円（元金：50,000 円，延滞利息：794,098 円）

区　分	元　金	利　子	合　計
前期末貸付残額	498,000 円	17,037 円	515,037 円
当年度貸付額	0 円	0 円	0 円
当年度免除額	50,000 円	0 円	50,000 円
当年度償還額	106,000 円	0 円	106,000 円
当年度末未償還額	342,000 円	17,037 円	359,037 円

地域福祉課（所管事業）

1　地域福祉活動の推進

地域住民の複雑化・複合化した様々な支援ニーズに対応するため，市や相談支援機関・各種団体と連携・協働し，「包括的な支援体制」を構築することで，互いを尊重し合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会の実現」を目指し事業推進に努めた。

（1）生活困窮者支援等のための地域づくり事業

地域におけるつながりの中で，住民が持つ多様なニーズや生活課題に対応できるよう，地域住民のニーズ・生活課題の把握，住民主体の活動支援・情報発信，地域コミュニティを形成する居場所づくり，多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことで，地域における共助の取り組みを活性化させ，地域福祉の推進に努めた。

①　地域福祉協議会の設立及び活動支援

町内会等の区域において，地域活性化に向けた協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援していくための周知・啓発用の動画を作成するとともに，地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

【令和６年度に設立した地域福祉協議会　１ヶ所】

設立日	協議会名	備考
令和６年８月 20 日(火)	百引地域福祉協議会	既存の住民福祉活動(見守り活動)を基盤に発足

【地域福祉協議会総数】25 か所

【地域生活課題を話し合う定例会等の支援】54 回

②　地域の関係者との連携による地域生活課題の早期把握

鹿屋市民生委員児童委員協議会の定例会等に毎月参加し，課題の早期把握に努めた。

③　住民アンケート及び支え合いマップ等による地域ニーズの把握

住民アンケート及び支え合いマップづくりを通して，地域ニーズの把握に努めた。

ア　住民アンケートの実施

寿　８　丁　目	目　　的	地域ニーズを把握し，寿８丁目地域福祉協議会において協議検討を行う。
	調査対象	寿８丁目町内会 430 世帯
	調査時期	令和６年７月 26 日～８月 16 日
	回収状況	213 世帯（49.5%）

【その他集計報告等】　３か所（西祓川町，平南，鶴峰中）

イ　支え合いマップ作成（地図印刷等）の支援

地　域	日　時	場　所
西 原 ２ 丁 目 東	令和６年５月 16 日(木)	個人宅

④　地域住民等に対する研修の実施

地域住民等に対して研修を実施し，地域共生社会の実現に向けた取り組みに関する情報の共有に努めた。

ア　地域福祉協議会研修会

日　　時	令和６年７月 19 日(金)　13：30～16：00
場　　所	リナシティかのや２階 情報研修室
内　　容	・講　　演「都城市 15 地区社会福祉協議会の取組について」 ・事例発表「都城市山田地区社会福祉協議会による実践報告」 ・グループワーク「生きづらさを抱える人に地域ができること」
参　加　人　数	54 人(地域福祉協議会関係者 27 人，関係機関 27 人)

イ　ふれあいネットワーク研修会

日　　時	令和６年 11 月７日(木)　13：30～16：00
場　　所	リナシティかのや２階 情報研修室
内　　容	・行政説明「認知症初期集中支援チームの取組について」 ・研　　修「鹿児島市における見守り・支えあい活動等の取組について」 ・意見交換「困りごと等について」
参　加　人　数	43 人(見守り活動関係者 23 人，関係機関 20 人)

ウ　あんしん安全ネットワークセミナー

日　　時	令和７年１月 22 日(水)　13：30～16：00
場　　所	鹿屋市役所別館
内　　容	・安全運転体操 ・パネルディスカッション（日置市・曽於市・鹿屋市）
参　加　人　数	48 人(民生委員・児童委員 40 人，関係機関８人)

⑤　地域づくりを推進する市関係各課等との連携

地域づくりを推進する関係機関等と定期的に協議を行うことで，それぞれの取組状況を把握し，地域福祉協議会の設立や生活支援の仕組みづくり等に向けて連携を図った。

ア　市福祉政策課との協議(計６回)

・重層的支援体制整備事業の進捗確認

イ　市高齢福祉課との協議(計 12 回)

・生活支援コーディネーターとの情報共有

・生活支援体制整備事業の移行作業に係る協議

ウ　地域防災リーダー講座

日　　時	令和６年９月１日(日)　９：30～16：30
場　　所	市役所７階　大会議室
内　　容	自主防災組織等について

エ　災害に備えるための地域ミーティング

日　　時	令和６年 12 月 15 日(日)　８：45～12：00
場　　所	市役所７階　大会議室
内　　容	個別避難計画等について

オ　多文化共生社会推進会議

日　　時	令和７年１月 21 日(火)　13：30～16：00
場　　所	鹿屋市商工会議所
内　　容	多文化共生に向けた取り組み等について

カ　福祉有償運送に係る意見交換会

日　　時	令和７年３月７日(金)　10：00～11：30
場　　所	吾平町振興会館
内　　容	福祉有償運送の取り組み等について

⑥　ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるよう，地域の中で支援が必要な方を見守る体制を構築するとともに継続的に活動できるよう支援を行った。

ア　高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区　分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総　　数	23 ヶ所	４ヶ所	４ヶ所	４ヶ所	35 ヶ所
	定例会を通じた支　援　回　数	47 回	０回	７回	６回	60 回

イ　関係機関と連携した近隣福祉ネットワーク活動の支援（輝北支所）

地　区	開催日	参加人数
平南地区	令和７年２月 26 日（水）	16 人
市成地区	令和７年２月 24 日（月）	17 人
高尾地区	令和７年２月 20 日（木）	21 人
百引地区	令和７年２月 18 日（火）	49 人

ウ　令和６年度近隣福祉ネットワーク合同研修会

日　　時	令和７年 10 月 22 日（火）10：00～12：00
場　　所	輝北ふれあいセンター　和室
内　　容	・研　　修「消費者トラブルの未然防止と対処法」 講師：鹿屋市消費生活センター職員 ・意見交換「地区ごとに見守り対象者等について話し合う」
参加人数	55 人

⑦ふれあい・いきいきサロン事業

住みなれた地域で気軽に集える場所の立ち上げ支援を行い，地域住民の「生きがいづくり」や「仲間づくり」の推進を図った。

ア　ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援，既存サロンへの支援

区　分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン	新規立上げ	８ヶ所	２ヶ所	１ヶ所	０ヶ所	11 ヶ所
	廃　止	２ヶ所	１ヶ所	０ヶ所	０ヶ所	３ヶ所
	総　数	104 ヶ所	27 ヶ所	28 ヶ所	16 ヶ所	175 ヶ所
子育てサロン	総　数	１ヶ所	０ヶ所	０ヶ所	１ヶ所	２ヶ所
サロンへの参加支援回数		24 回	５回	25 回	３回	43 回

イ　外国籍の方を対象にしたワールドサロンの開催【新規】

鹿屋市在住の外国籍の方が，地域で孤立することが無いよう，地域住民との交流イベントを開催し，相互の交流・親睦を図った。

日　時	令和６年 11 月 17 日(日)　９：30～12：00
場　所	串良ふれあいセンター
内　容	・グラウンドゴルフ交流 ・意見交換, 昼食会
参加人数	67 人（民生委員児童委員 23 人，技能実習関係 32 人，関係機関 12 人）

ウ　助成金を通じた支援（高齢者サロン等加入促進事業）

サロングループ等で新規加入した人数に応じて助成金を交付し，活動の促進を図った。

交付対象サロン数	156ｸﾞﾙｰﾌﾟ　（対前年度比：7ｸﾞﾙｰﾌﾟの増）
助成金額合計	2,180,000 円（対前年度比：326,000 円の減）

エ　レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

・貸出件数　延 134 件，171 台

用具名	貸出件数	貸出台数
スカットボール（２セット）	25 件	33 台
ストライクボード（１セット）	９件	９台
輪投げ（２セット）	32 件	43 台
シャッフルゴルフ（１セット）	０件	０台
スマイル射的（１セット）	７件	７台
たいこ相撲（１セット）	５件	５台
ボッチャ（３セット）	17 件	29 台
その他（10 個）	39 件	45 台
合　計	134 件	171 台

⑧　ドライブサロン事業の実施

市内の社会福祉法人６法人が経営する８つの福祉施設において，自ら交通手段を有しない高齢者等のために，週１回，法人のマイクロバス等を運行して，生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」と，月２回程度，法人のマイクロバス等を運行して，市内外の名所・観光地への遠足と買い物を組み合わせた「生きがいづくり型」の２種類のドライブサロン事業を行った。

また，地域福祉協議会が車両（社協所有車）を無償で貸受け，地域主体で住民の買い物を支援する「ドライブサロンプラス」を行った。

ア　生活支援型ドライブサロン

実　施　回　数	237 回（対前年度比：１回の増）
登　録　者　数	49 人（対前年度比：24 人の減）
年間利用者数（延）	1,276 人（対前年度比：102 人の減）

（各地区の内訳表）

地　区　名	花岡地区	大始良地区
町　内　会	有武・小薄・高牧	大始良東
協　力　法　人	社会福祉法人　愛光会 桜町学園・和光学園	社会福祉法人　永生会 慈恵園
開　始　日	平成 27 年４月２日	平成 28 年８月 29 日
実　施　日	毎週木曜日　13：00～	毎週火曜日　10：00～
買　い　物　先	ニシムタ鹿屋店，スーパーかくち	A コープ大始良店
実　施　回　数	48 回	39 回
登　録　者　数	11 人	４人
年間利用者数	平均５人，延べ 219 人	平均２人，延べ 91 人

地　区　名	串良地区	花里地区
町　内　会	富ヶ尾中央	花里・白水・一里山・海道
協　力　法　人	社会福祉法人　以和貴会 以和貴苑	社会福祉法人　鹿屋恵友会 花岡の里
開　始　日	平成 29 年３月７日	平成 29 年８月４日
実　施　日	毎週火曜日　10：30～	毎週木曜　9：45～
買　い　物　先	タイヨー串良店	ﾆｼﾑﾀ鹿屋店　ｽｰﾊﾟｰかくち
実　施　回　数	52 回	48 回
登　録　者　数	11 人	９人
年間利用者数	平均５人，延べ 260 人	平均６人，延べ 273 人

地　区　名	飯隈・南地区
町　内　会	飯隈・南
協　力　法　人	社会福祉法人　愛光会 総合サポートセンターラン
開　始　日	平成 29 年 11 月 15 日
実　施　日	毎週木曜日　13：00～
買　い　物　先	A コープ大始良店
実　施　回　数	50 回
登　録　者　数	14 人
年 間 利 用 者 数	平均９人，延べ 433 人

イ　生きがいづくり型ドライブサロン

実　施　回　数	26 回　（対前年度比：14 回の増）
年間利用者数（延）	319 人　（対前年度比：199 人の増）

（各地区の内訳表）

地 区 名	吾平地区	串良地区
法　人　名	社会福祉法人岳風会　陵北荘	社会福祉法人友心会　ゆらり
開　始　日	平成 30 年 10 月９日	令和元年 10 月９日
実　施　日	月２回	月２回
行　先	市内外の名所，スーパー	市内外の名所，スーパー
対　象　者	吾平町内のサロン参加者	串良町内のサロン参加者
利 用 者 数	105 人	214 人
実 施 回 数	８回	18 回

ウ　ドライブサロンプラス

（ア）新規開始地区

日　時	令和６年９月 12 日（木）　10：00～10：40
場　所	平南地区公民館
参 加 人 数	50 人（住民 40 人，関係機関 10 人）

（イ）運転ボランティア養成講座

日　時	令和６年８月 21 日（水）　13：30～15：20
場　所	鹿屋自動車学校
参 加 人 数	運転ボランティア（平南地域福祉協議会）６人

（ウ）実施状況

実　施　回　数	156 回（対前年度比：64 回の増）
登　録　者　数	62 人（対前年度比：14 人の増）
年 間 利 用 者 数（延）	735 人（対前年度比：298 人の増）

（エ）各地区の実施状況

地区名	高須	池園
協議会名	高須町内会 地域福祉推進協議会	池園町地域福祉協議会
開始日	令和６年８月３日	令和６年８月 17 日
実施日	毎週水曜日 9：00～12：00	毎週火曜日 9：00～12：00
行先	市内のスーパー	市内のスーパー
運転ボランティア	５人	４人
登録者数	30 人	12 人
実施回数	50 回	51 回
年間利用者数	平均６人, 延べ 283 人	平均５人, 延べ 249 人

地区名	川東	平南
協議会名	川東町地域福祉協議会	平南地域福祉協議会
開始日	令和６年９月１日	令和６年９月 12 日
実施日	毎週金曜日 9：00～12：00	毎月火曜日 9：00～12：00
行先	市内のスーパー	市内のスーパー
運転ボランティア	２人	６人
登録者数	６人	14 人
実施回数	49 回	６回
年間利用者数	平均４人, 延べ 175 人	平均５人, 延べ 28 人

エ　ドライブサロン事業連絡会の開催

日時	令和７年３月３日(月)　10：00～11：30
場所	リナシティかのや２階 情報研修室
内容	・令和６年度ドライブサロンの実施状況について ・ドライブサロン事業担当者間の意見交換会
参加者	６法人 ８施設（10 人）

⑨　視察受入・研修講師等状況

1	日時	令和６年 10 月４日(金)　10：15～11：40
	相手方	南九州市知覧町民生委員児童委員　18 人
	内容	ドライブサロン＋（プラス）の取り組み状況について
2	日時	令和６年 10 月 24 日(木)　13：30～15：30
	相手方	鹿児島地域振興局　２人
	内容	ドライブサロン現場視察及び実施状況のヒヤリング

⑩　こども食堂への支援

地域のこども達に，無料または低額な料金で栄養のある食事を提供するとともに，地域の多世代交流の場にもなっているこども食堂の活動を支援した。

ア　こども食堂の立ち上げに関する情報提供および支援　10 回

【新規設立】５か所　（合計 11 か所）

No.	設立日	食堂名	地区
1	令和６年４月	ときの色とっちんこども食堂	下祓川町
2	令和６年６月	こどもの食堂いまここ	新川町
3	令和６年７月	こどもと一緒食堂	札元１丁目
4	令和６年８月	なな子こども食堂	田淵町
5	令和７年１月	朝ごはん食堂（しあわせごはん）	寿３丁目

イ　市民等から寄贈された食材等の提供

29 件（寄附金６件 375,700 円，食材等 23 件）

ウ　こども食堂ネットワーク連絡会の開催

【第１回】

日　　時	令和６年５月 27 日(月)　14：00～16：00
場　　所	リナシティかのや２階 情報研修室
内　　容	・研　修「こども食堂の運営における衛生管理について」 ・意見交換会「こども食堂の紹介　他」
参加人数	41 人（こども食堂関係者 30 人，関係機関 11 人）

【第２回】

日　　時	令和６年９月６日(金)　14：00～16：00
場　　所	リナシティかのや３階 フリールーム
内　　容	・協議「こども食堂展について」 ・意見交換会「こども食堂の紹介　他」
参加人数	23 人（こども食堂関係者 20 人，関係機関３人）

エ　こども食堂展の開催【新規】

日　　時	令和６年 10 月 26 日(土)　10：00～15：00
場　　所	リナシティかのや２階 調理室・団体活動室・研修室１
内　　容	・市内のこども食堂紹介パネル展示 ・寄付企業等の紹介パネル展示 ・カレー配布限定 200 食（こども 85 食　大人 119 食　※４食増）
参加人数	こども食堂関係者 21 人

（2）アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の実施

地域住民と各種支援機関等とのつながりの構築を図るとともに，複合化・複雑化した課題を抱えながらも必要な支援が届いていない方々に対し,積極的な働きかけ（アウトリーチ）を行い，潜在的な支援ニーズの把握や信頼関係を構築した上で，必要な支援を継続的に行った。

① 相談実績

	電話	来所	訪問	メール	FAX	その他	合計
単身世帯	20	4	7	0	0	0	31
ひとり親	2	1	0	0	0	0	3
高齢者	16	4	3	0	0	2	25
知的障がい者	1	0	0	0	0	0	1
精神障がい者	8	2	2	0	0	1	13
身体障がい者	5	2	3	0	0	0	10
認知症	0	0	0	0	0	2	2
生活困窮者	17	8	5	0	0	2	32
外国籍	0	0	0	0	0	0	0
虐待	1	0	0	0	0	2	3
DV	2	0	0	0	0	0	2
ひきこもり	0	0	1	0	0	0	1
不登校	0	0	0	0	0	0	0
ヤングケアラー	0	0	0	0	0	0	0
８０５０	1	0	0	0	0	1	2
ダブルケア	0	0	0	0	0	0	0
多子世帯	0	1	0	0	0	0	1
ゴミ屋敷	0	0	1	0	0	0	1
その他	2	2	0	0	0	0	4
合計	75	24	22	0	0	10	131

② 生活困窮者や支援制度の狭間にいる方への支援

ア 当会備蓄食料品の無償提供による食料支援

支援世帯数	46 世帯
支援件数	57 件

イ かごしまおもいやりネットワーク事業による支援

県内の社会福祉法人や企業の拠出金をもとに生活資金の支援を行う「かごしまおもいやりネットワーク事業」を活用し，困窮世帯の生活支援を行った。

（ア） 支援実績

支援世帯数	16 世帯
支援件数	16 件
支援金額	522,677 円
支援内容	食料費，燃料費，公共料金，家賃，医療費等

（イ） おもいやりネットワーク事業ワーキング部会参加

支援内容の検討や，効果的な事業運営について協議した（ＺＯＯＭによる参加）

開催日		内容
第 １ 回	令和６年 10 月 ８日（火）	研修会・支援方法の内容検討
第 ２ 回	令和７年 １月 23 日（木）	支援方法の検討
第 ３ 回	令和７年 ３月 27 日（木）	支援方法の検討
研 修 会	令和７年 ２月 13 日（木）	グループワークへの参加

（ウ） かごしまおもいやりネットワーク事業加入法人連絡会

市内の加入社会福祉法人を対象に，ネットワーク作りや制度の狭間の方への支援について検討することを目的として開催した。

日　　時	令和６年 12 月 24 日(火)　14：00～16：20
場　　所	リナシティかのや２階　情報研修室
内　　容	（１）県内の現状と課題及び今後の支援実施について 鹿児島県おもいやりネットワーク事務局　東平　正孝　氏 （２）市内の実施状況について （３）参加法人による意見交換
参 加 者	６法人７名

③ 相談支援機関との連携

世帯への包括的支援に係る重層的支援会議等を通じた，高齢・障害・児童・困窮分野の支援機関と連携や，実務的なネットワークの構築に努めた。また，多様な関係機関で構成される会を通じた連携促進にも努めた。

ア　青少年問題協議会実務者会（市生涯学習課主催，年６回）
イ　鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（市こども家庭課主催，年４回）
ウ　肝属・曽於地区自殺対策ネットワーク会議（大隅地域振興局主催，年１回）
エ　権利擁護実務者会（市高齢福祉課主催，年３回）
オ　認知症疾患医療連携会議
カ　教育委員会学校指導主任会

（３）参加支援事業の実施

社会参加の既存事業では対応できない方々について，社会とのつながりを回復できるようにするため，本人に寄り添い支援を行った。

① 相談実績

区　分	電話	来所	訪問	メール	FAX	その他	合計
単 身 世 帯	1	3	1	0	0	0	5
高 齢 者	0	3	1	0	0	0	4
知的障がい者	2	0	0	0	0	0	2
精神障がい者	1	0	0	0	0	0	1

区　分	電話	来所	訪問	メール	FAX	その他	合計
認　知　症	0	1	1	0	0	0	2
生活困窮者	5	0	0	0	0	0	5
８０５０	1	0	0	0	0	0	1
そ　の　他	0	1	1	0	0	0	2
合　　計	10	8	4	0	0	0	22

②　研修会等の実施

子どもの発達特性や行動等について

日　　時	令和７年１月 17 日（金）18：00～20：00
場　　所	リナシティかのや福祉プラザ
内　　容	(1) 講話「子どもの発達特性や行動等について」 講師：鹿児島中央児童相談所　技術主査 精神科医　田畑　健太郎　氏 (2) 質疑応答及び意見交換
参　加　者	児童・障がい分野の事業所・行政職員 20 名

２　生活支援・介護予防の充実・強化

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設に，住民に向けた，様々な取り組みや活動を展開し，生きがいづくりや健康維持，生活の質の向上に努めた。

（１）各種支援行事（講演会等）の実施

①　野菜・花づくり教室

開催回数	２回
日　　時	【第１回】令和６年６月 25 日（火）10：00～11：30 【第２回】令和６年 10 月８日（火）10：00～11：30
場　　所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（車庫他）
内　　容	【第１回】 ペンタス・ベゴニア苗の鉢植/季節野菜（オクラ・ゴーヤ苗）のプランター栽培（世話人　JA そお営農指導員　福留氏 ） 【第２回】 なでしこ・日日草の苗/季節野菜（サニーレタス・ブロッコリー苗）のプランター栽培（世話人　JA そお営農指導員　福留氏 ）
受講者数	延べ 37 人（第１回…17 人，第２回…20 人）

② 小中学校学習支援教室

実施回数	２回
日時	【第１回】令和６年 ８月 19 日（月）10：00～11：30 【第２回】令和６年 12 月 26 日（木）10：00～11：30
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（車庫）
内容	【第１回】竹馬・貯金箱作成　町内小・中学校全校生徒対象　講師　社協職員 【第２回】ミニ門松松作り　　町内小・中学校全校生徒対象　講師　社協職員
受講者数	延べ 19 人（第１回…６人，第２回…13 人）

③ 高齢者のための料理教室

開催回数	２回
日時	【第１回】令和６年６月 10 日（月）11：00～12：00（やすらぎサロン４班） 【第２回】令和６年７月 12 日（金）11：00～12：00（やすらぎサロン２班）
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（会議室／和室）
内容	自炊生活のための料理教室
講師	地元有識者　脇田 るみ子・弓削 恵子
受講者数	延べ 26 人（第１回…14 人，第２回…12 人）

④ ふれあいレクリエーション（前期・後期）

開催回数	８回
日時	≪前　期≫ 【第１回】令和６年７月 18 日(木)13：30～14：30（やすらぎサロン４班） 【第２回】令和６年７月 22 日(月)13：30～14：30（やすらぎサロン２班） 【第３回】令和６年７月 29 日(月)13：30～14：30（やすらぎサロン３班） 【第４回】令和６年７月 31 日(水)13：30～14：30（やすらぎサロン４班） ≪後　期≫ 【第１回】令和７年１月　９日(木)13：30～14：30（やすらぎサロン３班） 【第２回】令和７年１月 15 日(水)13：30～14：30（やすらぎサロン２班） 【第３回】令和７年１月 23 日(木)13：30～14：30（やすらぎサロン４班） 【第４回】令和７年２月 10 日(月)13：30～14：30（やすらぎサロン１班）
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（機能訓練室／和室）
内容	介護予防体操レクリエーション
講師	鹿屋市レクリエーション協会　介護福祉士　松園　タミ子 氏
受講者数	延べ 95 人(前期…51 人,後期…44 人)

⑤骨折（フレイル）予防講座

実施回数	４回
日時	【第１回】令和７年２月 ３日（月）13：50～14：50（やすらぎサロン３班） 【第２回】令和７年２月 ６日（木）13：50～14：50（やすらぎサロン２班） 【第３回】令和７年２月 ７日（金）13：50～14：50（やすらぎサロン４班） 【第４回】令和７年２月 28 日（金）13：50～14：50（やすらぎサロン１班）
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（和室）
内容	骨折（フレイル）予防講座
講師	鹿屋体育大学　理学療法士　鹿屋市健康増進課
受講者数	延べ 47 人（第１回…13 人，第２回…９人，第３回…11 人，第４回…14 人）

（２）鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターへ自力での通所が難しい高齢者等について，移動支援を希望してサポーター登録や講習受講を行った地域住民が送迎を行うことで，これら高齢者等の社会参加と介護予防等の推進を図った。

登録者数	12 人	実施日数	46 日
延べ利用者数	104 人	付添サポーター数	4 人

（３）鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な場所に集い，介護予防や認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりに取り組む「やすらぎサロン」の開催に努めた。

登録者数	59 人
延べ利用者数	2,309 人(1 日平均 12.4 人)
実施日数	187 日

① 買い物等支援

輝北ふれあいセンターで開催される「やすらぎサロン」の利用者が，市輝北総合支所や JA 輝北支店などに用事や買い物がある場合，社協輝北支所の職員が送迎を行って，利用者の利便性の向上に努めた。

利用者数	613 人
利用状況	A マート（399 人），JA 輝北支店（96 人），輝北総合支所（101 人） 郵便局（84 人），その他（７人）
運行回数	353 回

（４）輝北地区乗合ワゴン事業の実施【新規】

過疎高齢化が急速に進み公共交通網の脆弱化も重なる輝北地域において，交通弱者の生活支援の一環として，鹿屋市の委託事業として運用を図り地域福祉の向上に務めた。

・希望者は，事前登録を行い自宅から指定された 13 ポイント間を利用

利用料金	大人片道 200 円（70 歳以上や身障者，小学生以下の子供など一定の条件下では半額）
運行日	毎週月・水・金（祝日と 12/29～1/3、降雪等悪天候と判断された場合は運休）
運行便数	5 便（7:30～8:00，9:30～10:30，10:30～11:30，11:30～012:30，13:30～14:30）

運行等実績

登録者	稼働日数		便数		利用延人数	
115 人	年間	135 日	年間	477 便	年間	1,353 人
	平均	11 日	平均	40 便	平均	113 人

3　総合相談事業の実施

一般相談では，市民の様々な相談を受け，福祉サービス等の情報提供や専門機関への橋渡しを行い，専門相談では，専門的な助言や情報提供を行い問題解決への適切な支援に努めた。

（1）相談件数　415 件（対前年度比　△92 件）

相談種別		相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数
一般相談（心配ごと相談）		心配ごと・悩みごと	月曜日～金曜日 9：00～12：00	心配ごと相談員	244 日	161 件（△61 件）
専門相談	法　律　相　談	権利・相続・借地等	第 2 金曜日 13：00～16：00	弁護士	12 日	69 件（6 件増）
	税務・経営相談	相続税・贈与税等	第 1 金曜日 9：00～12：00	税理士	10 日	24 件（△5 件）
	財産・登記相談	相続・財産・登記等	第 2・3・4 金曜日 9：00～12：00	司法書士	34 日	144 件（△30 件）
	終　活　相　談	死後事務・遺言等	第 4 木曜日 9：00～12：00	行政書士	11 日	17 件（△2 件）

（2）周知広報

掲載月	広報媒体	周知方法
令和 6 年　4 月	社協だより第 64 号	全戸配布
令和 6 年　7 月	福祉プラザ通信第 178 号	全戸回覧
令和 6 年　7 月	社協だより第 65 号	全戸配布
令和 6 年 10 月	社協だより第 66 号	全戸配布
常　　時	社協ホームページ	インターネット
常　　時	市ホームページ	インターネット

（3）心配ごと相談所相談員会

日　時	内　容	出席者
令和７年３月７日（金） 15：30～17：00	1　研修 （1）相談対応について （2）意見交換会 2　心配ごと相談所の運営について （1）相談所の実績等について （2）今後の相談所運営について	心配ごと相談員６人

4　ボランティア活動の推進

高齢者や障がい者をはじめとしたすべての市民が，健康でいきいきと自立した生活を営みながら社会参加活動へ参加して，気軽に人との交流を深めることや福祉増進に大切なボランティア精神の育成を行う地域福祉活動の拠点施設として，福祉プラザの適正な管理運営と利用促進等に努めた。

（1）市民交流センター福祉プラザ管理運営事業の実施（市指定管理事業）

①　施設利用実績等

利　用　件　数	2,250 件（対前年度比：112 件の減）
利 用 者 人 数	16,656 人（対前年度比：386 人の増）
事故・苦情件数	事故件数 0 件（対前年度比：増減なし）
	苦情件数 0 件（対前年度比：増減なし）

②　福祉プラザ利用団体の登録及び意向調査の実施

ア　福祉プラザ利用登録団体の登録（令和７年３月 31 日現在）

登 録 団 体 数	75 団体（内，新規登録団体数：７団体）対前年度比：７団体の増

イ　福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内　　容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方　　法	令和７年２月４日に，登録団体へ調査票を郵送
件 数（ 調 査 ）	77 団体（令和７年２月４日時点の登録団体数）
結　　果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する　75 団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する　２団体

③　福祉プラザ通信の発行及び配布

発　行　回　数	４回（第 182 号～第 185 号）
発　行　内　容	・社協実施事業（心配ごと相談，イベント等の案内） ・ボランティア関連行事
発　行　部　数	毎月約 5,000 部発行（町内会へ回覧，公共施設等へ配布）

（2）ボランティアセンター事業の実施

福祉教育の実践や高齢者，障がい者の方々とふれあう機会の充実による市民の「福祉の心」の醸成や地域福祉を支えるボランティア活動の充実を図るため，福祉イベントを通じた福祉意識の向上に取り組むなど，ノーマライゼーションの実現に努めた。

① 福祉教育の推進

ア　ボランティアフェスティバルの開催（鹿屋市福祉まつりとの共催）

日　　時	令和６年 10 月 26 日（土）10：00～15：00
場　　所	リナシティかのや
参加団体及び協力者数	32 団体，171 人
対象者及び来場者数	対象：一般市民，来場者：1,924 人
内　　容	・こども食堂展，事業所による物品販売 ・ボランティア団体によるステージ発表 ・手話や音訳、救命救急等の体験ブース

イ　福祉ボランティア作文コンクールの実施

対　象　者	小学生・中学生・高校生
応　募　数	23 点［内訳］小学校 14 点, 中学校７点, 高等学校２点
審査結果	最優秀賞３点，優秀賞５点
そ　の　他	最優秀賞者２名を福祉まつりにて表彰

ウ　ボランティア活動推進校の福祉教育への支援

(ｱ) ボランティア活動推進校の指定

小学校 19 校，中学校８校，高等学校３校　計 30 校

(ｲ) ボランティア活動推進校連絡会の開催

日　　時	令和６年６月 28 日（金）15：00～16：30
場　　所	リナシティかのや３階　フリールーム
対　象　者	ボランティア活動推進校の担当教諭
出席者数	17 校　17 人
内　　容	・講話「南大隅町における福祉教育学習の取り組みについて」 講師　南大隅町社会福祉協議会地域福祉係長　大竹野　佑介　氏 ・児童生徒のボランティア活動普及事業の事務処理等について （説明：社協職員）

(ｳ) 福祉体験出前講座の実施

回　　数	16 回 （小学校８回，中学校７回，一般１回）
受講者数	計 762 人（小学校 421 人，中学校 334 人，一般７人）
実　施　先	吾平中，花岡中，大姶良中，大黒小，輝北中，細山田小（２回），高限中，寿北小（２回），寿小，串良中，西原小，勤労者交流センター，田崎小，田崎中

(ｴ) 福祉体験教材等の貸出

高齢者疑似体験セットの貸出	14 件：186 セット
車イスの貸出	124 件：134 台
ボランティア手帳の配布	11 件：352 冊
白杖・アイマスクセット貸出	10 件：119 セット

(オ) 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

ボランティア活動認定証発行数　10 枚（内訳）小学生６名，高校生２名，高校生５名

② ボランティアの育成

ア　わくわくボランティア体験学習（親子で学ぶボランティア体験学習）の開催

日　　時	令和６年７月 24 日（水）14：00～16：00
場　　所	リナシティかのや２階　情報研修室
対 象 者	小学校４～６年生
参 加 者 数	21 名（４年生 10 名，５年生６名，６年生５名)、保護者等 10 名
内　　容	（１）講話　ボランティアで大切なこと （２）マジックショー （３）実技「マジックに挑戦しよう」 講師：鹿児島市レクリエーション協会会長兼マジック愛好会顧問 大迫　元信　氏

イ　サマーボランティア体験学習の開催

日　　時	令和６年７月 26 日（金）10：00～12：00
場　　所	リナシティかのや３階フリールーム，フィットネスルーム
対 象 者	鹿屋市内中学・高等学校，大学生等
参 加 者 数	８人（内訳：中学生２人・高校生６人）
内　　容	（１）講話「パラスポーツについて」 （２）実技「ボッチャを体験しよう」 講師：鹿児島パラアスリートクラブ　丸野　奈央　氏

③ ボランティアセンター活動の充実

ア　ボランティアセンター運営委員会の開催

日　　時	令和６年７月５日(金)　13：30～14：30
場　　所	リナシティかのや２階　情報研修室
出 席 者 数	10 人
内　　容	(１)令和５年度ボランティアセンター事業実施報告について (２)令和６年度ボランティアセンター事業実施計画について (３)能登半島地震における珠洲市ボランティアセンター運営支援報告

イ　ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相 談 件 数	112 件
相 談 内 訳	・ボランティア活動保険について ・地域サロン，施設からのボランティア派遣要請　等

ウ　ボランティア（個人・団体）の登録状況

個人ボランティア	76 人
ボランティア団体	31 団体：13,027 名

④　ボランティアの活動支援

ア　ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	９人
ボランティア団体の活動保険加入	41 団体：1,254 人

イ　ボランティア活動保険掛金の助成

期　　間	令和６年４月１日から令和６年５月 31 日までの加入者
助成対象者数	1,208 人
助成金合計額	120,800 円（1,208 人×100 円）

⑤　広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
福祉プラザ	第 182 号，第 183 号，第 184 号，第 185 号

（3）鹿屋市高齢者元気度アップ・ポイント事業の実施

65 歳以上の高齢者の健康づくりやボランティア活動に対してポイントを付与し，地域貢献と社会参加による介護予防の推進に努めた。また，全ての年齢層の方が行う在宅高齢者の支援活動に対して，ポイントを付与することで地域における高齢者支援の担い手の育成に努めた。

①　高齢者元気度アップ・ポイント事業登録者数

登録者数	3,881 人（内 新規登録者 418 人）	対前年度比：316 人の増

②　ポイント転換交付金交付人数及び交付金額

ポイント転換交付人数	1,277 人	対前年度比：301 人の増
ポイント転換交付金額	4,447,000 円	対前年度比：1,331,000 円の増

※令和５年度活動実績に基づく令和６年度交付分

③ 高齢者元気度アップ・ポイント事業等フォローアップ研修会の開催

	第１回	第２回
日　　時	令和６年９月４日(水)10:00～11:30	令和７年３月 17 日(月)10:00～11:30
場　　所	リナシティかのや３階ホール	リナシティかのや３階ホール
内　　容	・ポイント付与方法について ・高齢者の健康づくりについて （講師：健康運動指導士 向井　亜沙望 氏）	・事業内容について ・心の健康について （講師：学校法人 都築教育学園 第一幼児教育短期大学 森吉　里奈氏）
参加者	137 人	185 人

④ 高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及・啓発を図るため，高齢者サロン等の会合へ参加し，同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

（4）高齢者地域支え合いグループポイント事業の実施

65 歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し，ポイントを付与し，その活動を活性化することにより，高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

① 高齢者地域支え合いグループポイント事業の周知及び登録

ア 高齢者地域支え合いグループポイント事業の広報・啓発を図るため，高齢者サロン等の会合へ参加し，同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

イ 活動グループの登録

登録数 322 グループ（内 新規登録団体 26 グループ） 対前年度比：21 グループの増

ウ 地区別登録状況（活動種別） ※休会８グループを含む

地区	校 区	高齢者支援				地域活性化			合計
		サロン	運動サロン	見守り	施設	地域	子育て	子ども食堂	
東 部	串 良 中	10	5	0	0	0	0	0	15
	上小原中	3	0	1	0	0	0	0	4
	細山田中	5	1	0	0	1	0	0	7
	鹿屋東中	21	19	3	1	2	1	2	49
西 部	第一鹿屋中	16	24	3	1	0	3	1	48
	花 岡 中	11	15	2	0	4	1	1	34
南 部	吾 平 中	27	12	1	3	2	1	0	46
	田 崎 中	4	7	3	1	2	0	1	18
	大姶良中	17	12	4	0	1	0	0	34
北 部	輝 北 中	15	7	0	1	1	1	0	25
	鹿 屋 中	18	16	5	0	2	1	0	42
	高 隈 中	5	1	0	1	1	0	0	8
合 計		152	119	22	8	16	8	5	330

② 転換交付金交付グループ及び交付額

区 分		令和６年度	対前年度比
【前期】 ４月～９月	グループ数	292 グループ	22 グループ増
	転換交付金	4,717,000 円	419,000 円の増
【後期】 10 月～３月	グループ数	293 グループ	17 グループの増
	転換交付金	4,510,000 円	170,000 円の増
合 計	グループ数	306 グループ	18 グループの増
	転換交付金	9,227,000 円	589,000 円の増

③ 事業交流会の開催

高齢者地域支え合いグループポイント事業に登録されたグループを対象に，活動の促進や意識向上を目的として，各地区で交流会を開催した。

No.	日時	場所	参加者
1	7月23日（火）14：00～15：30	輝北ふれあいセンター和室 （輝北・高隈中校区）	18名
2	7月25日（木）14：00～15：30	大姶良地区学習センター集会室 （吾平・田崎中校区・大姶良中校区）	27名
3	7月26日（金）14：00～15：30	東地区学習センター集会室（串良・鹿屋東中校区）	28名
4	7月29日（月）14：00～15：30	リナシティかのやギャラリー （鹿屋中校区・第一鹿屋中校区・花岡中校区）	54名

④ 事業フォローアップ研修会

日　　時	令和6年11月18日(月)　14：00～15：30
場　　所	リナシティかのや2階ギャラリー
内　　容	事例発表 ・上野おたすけ隊（有償ボランティア） ・吾平茶のん家もりあげ隊（常設型居場所）
参 加 者	グループ代表者　約185人

5　災害復旧支援活動の実施

鹿屋市内で災害が発生した場合に備え，住民・市役所・県社協・鹿屋青年会議所・大隅災害復旧ボランティア等の参加のもと，災害ボランティアセンター設置・運営研修を実施した。また，市等が主催する防災に関する研修会等に積極的に参加し，職員の資質向上に努めた。

（1）災害復旧支援活動事業の実施

① 災害ボランティアセンター設置・運営研修会の開催

日　　時	令和7年1月29日（水）～30日（木）10：00～16：00
主　　催	鹿屋市社会福祉協議会
場　　所	リナシティかのや2階情報研修室
対 象 者	中央地区町内会，中央地区民児協，おおすみ災害復旧ボランティア，鹿屋市，鹿屋市社会福祉協議会
内　　容	1日目　災害ボランティアセンターの基礎知識 2日目　災害ボランティアセンター設置・運用訓練 災害ボランティアセンター 図上レイアウトワーク 講師　鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部・ボランティアセンター 所長　池下　真也　氏，副所長　鶴田　亞衣子　氏
参加者数	52人

② 災害に備えるための地域ミーティングへの参加

日　　時	令和６年 12 月 15 日（日）9：30～12：00
主　　催	NHK 鹿児島放送局
場　　所	鹿屋市役所７階大会議室
内　　容	・鹿屋市の災害による被災状況と課題について ・グループワーク ① 災害時（避難時・避難所で）不安に思うこと ② 自分自身または地域で出来ること
参 加 者	当会職員　３人

③ 鹿屋市地域防災リーダー養成講座への参加

日　　時	令和６年９月１日（日）9：30～16：30
主　　催	鹿屋市
場　　所	鹿屋市役所７階大会議室
内　　容	・鹿屋市の自然災害，防災対策 ・AED を活用した心肺蘇生法 ・防災マップの活用方法　他
参 加 者	当会職員　２人

④ 鹿屋市地域防災リーダー会議への参加

日　　時	令和７年２月７日（金）18：30～21：00
主　　催	鹿屋市
場　　所	鹿屋市役所７階大会議室
内　　容	・地震津波ワークショップ ・令和６年度鹿屋市地域防災リーダー認定証授与　他
参 加 者	当会職員　１人

（2）被災者生活支援事業の実施

火災等による被災者に対して，社協・共同募金・日赤から見舞金や災害救援物資を贈った。

災害見舞金	社協	・全　　焼　４件×20,000 円＝ 80,000 円 【合計　80,000 円】
	共募	・全　　焼　３件×15,000 円＝ 45,000 円 【合計　45,000 円】
災害見舞金 災害救援物資	日赤	・被災された５世帯に救援物資(毛布，タオルケット，ブルーシート，緊急セット)を配布した。

（3）被災地への職員派遣

令和６年１月に発生した能登半島地震で被災した地域に開設された災害ボランティアセンターに対し，災害時相互応援協定等に基づき，県社会福祉協議会と連絡調整しながら，本会からの職員派遣を実施した。

派遣期間	１回目：令和６年５月２日（木）～８日（水）７日間 ２回目：令和６年７月１日（月）～７日（日）７日間
派　遣　先	石川県珠洲市災害ボランティアセンター
派遣人数	１回目：１人　２回目：１人　　計２人

6　障がい者の社会参加と自立支援

障がい者の社会参加を支援する事業を実施し，障がい者の社会・経済・文化，その他あらゆる分野の活動への参加の促進を図った。

（1）各種奉仕員養成講習会の開催

①　手話奉仕員養成講習会の開催（基礎課程）

期　　間	令和６年４月 16 日(火)～令和７年３月 18 日(火) 毎週水曜日　19：00～21：00
回　　数	46 回（92 時間）
場　　所	リナシティかのや２階 情報研修室
受講者数	30 人
修了者数	入門課程　18 人　基礎課程　17 人　（総登録者 217 人）

②　点訳奉仕員養成講習会の開催

期　　間	令和６年６月 12 日(水)～令和６年 11 月 13 日(水) 毎週水曜日　13：00～15：00
回　　数	20 回（40 時間）
場　　所	リナシティかのや２階 ふれあいルーム
受講者数	７人
修了者数	７人（総登録者数 106 人）

③　音訳奉仕員養成講習会の開催

期　　間	令和６年６月６日(木)～令和６年 10 月 17 日(木) 毎月第１・３木曜日　13：00～15：00
回　　数	10 回（20 時間）
場　　所	リナシティかのや２階 ボランティア室
受講者数	５人
修了者数	４人（総登録者数 93 人）

④　要約筆記奉仕員養成講習会の開催

期　　間	令和６年７月９日(火)～令和６年 12 月 10 日(火) 毎月第２・４火曜日　10：30～13：30
回　　数	11 回（33 時間）
場　　所	リナシティかのや２階 ボランティア室
受講者数	３人
修了者数	１人（総登録者数 49 人）

⑤ **声の広報等発行事業**

視覚による情報入手が困難な障がい者を支援するため，点訳，音訳の方法により，市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

広報種別	提供方法	発行回数	利用人数
広報かのや	音訳	12回	9人
広報かのやお知らせ版	音訳	12回	9人
社協だより他	音訳	4回	9人
	点訳	4回	3人

（2）意思疎通支援事業の実施

聴覚障がい者の方々が，円滑な意思疎通を図れるよう意思疎通支援者の派遣を行った。

① **意思疎通支援者の派遣**

ア　手話通訳者の派遣

回数，派遣人数，活動時間	29件，45人，67時間42分
主な派遣用務	市主催講演会，病院受診等

イ　要約筆記者の派遣

回数，派遣人数，活動時間	5件・25人・16時間55分
主な派遣用務	市主催講演会等

（3）福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について，必要とする方に無料で斡旋した。

区分	提供台数	譲渡希望台数（うち提供済分）
特殊寝台	2台	2台（2台）
車イス	2台	3台（2台）

（4）福祉機器貸出事業の実施

① 車いすの無償貸出（車いすの貸出：124件：134台）

7　子育て支援事業の実施

育児や家事の援助を必要とする人(利用会員)と育児等の援助を行いたい人(サポート会員)を募集・登録し，相互間の利用調整を行うなどして，子育て世帯における育児の負担軽減を図った。

（1）鹿屋市ファミリー・サポート・センター事業の実施

① **会員登録者数**　　総会員数　661人（対前年度比：9名の増）

区分	会員数（内 新規登録者数）
利用会員	330人(50人)
サポート会員	292人(11人)
両方会員	39人(1人)
合計	661人(62人)

② 会員募集講習会の開催と出席者数

開　催　日	利用会員	ｻﾎﾟｰﾄ会員	両方会員	合計
令和６年 ６月 ６日(木)	0 人	5 人	0 人	5 人
令和６年 10 月 15 日(火)	0 人	6 人	0 人	6 人
令和７年 ２月 16 日(日)	0 人	5 人	2 人	7 人
随　　時	53 人	0 人	0 人	53 人
出　　前	0 人	0 人	0 人	0 人
合　　計	53 人	16 人	2 人	71 人

③ 全体交流会の開催

日　　時	令和６年７月 12 日(金)　9：30～12：00
場　　所	リナシティかのや２階　情報研修室
内　　容	・「音楽に合わせて楽しくフラダンス」 講師：小野　ひろ子　氏（フラダンス講師） ・体験発表 ２例（利用会員とサポート会員が１名ずつ発表） ・情報交換会
参 加 者 数	会員 12 人，子ども３人

④ フォローアップ講習会の開催

日　　時	令和６年 11 月 12 日(火)　9：30～12：00
場　　所	リナシティかのや２階 情報研修室
内　　容 内　　容	・乳幼児の緊急救命及び事故防止について（実技を含む） 講師：大隅肝属地区消防組合　中央消防署　職員 ・子どもの自己肯定感を高める声掛けについて（ワークシートを使用した演習） 講師：ファミリーサポートセンターコーディネーター
参 加 者 数	８人

⑤ 活動回数

・総活動回数　694 回（対前年度比：156 回の減）

活 動 内 容	内　訳
保育施設等の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	11 件
保育施設等までの送迎	128 件
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0 件
学校の放課後の子どもの預かり	0 件
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	3 件
買い物等外出の際の子どもの預かり	166 件
家事援助	6 件
習い事等の送迎	280 件

活 動 内 容		内　訳
その他		100 件
	面会交流時の送迎や預かり	90 件
	その他	10 件
依 頼 件 数		694 件

⑥　その他

ア　援助活動に関する事前打合せ件数　39 件

イ　会報の発行

鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより２回発行（会員，保育園等に配布）

ウ　広報啓発

・鹿屋市の広報紙・・・３回　　・社協だより・・・３回

※その他の取り組み

・市内の生涯学習施設や子育てひろば，協力店舗などに講習会開催のポスターの掲示を依頼した。

（２）つどいの広場事業

３歳までの乳幼児とその親が気軽に集い，打ち解けた雰囲気の中で利用者同士での語り合いや親睦交流を深めるとともに，常駐の保育士による育児に関する相談ができる場として，つどいの広場“りな”の開設を行った。

① 子育てアドバイザーの配置

子育てアドバイザーとして，保育士の資格を有する職員を３名配置した。

② 利用状況

開　設　日　数	240 日
利　用　者　数	2,725 人（内 講習会等参加者 475 人含む） （対前年度比：419 人の減）
1 日平均の利用者数	9.4 人（対前年度比：1.6 人の減）

③ イベント・講習会　　開催回数：24 回　延参加者数 475 人（対前年度比：48 人の増）

④ 相談件数　　49 件（対前年度比：31 件の減）

【主な相談内容】

・離乳食や食事について

・発達について（人見知り，歩かないなど）

・保育園，幼稚園について

・きょうだいの接し方などについて

8　共同募金運動の実施

地域活動支援や災害支援などの原資として活用される共同募金活動の意義と重要性を広く周知し，地域住民の共同募金に対する理解の促進を図った。

（1）広報啓発活動の実施

① 赤い羽根，ポスター，パンフレット，チラシ等募金資材を使った広報

② 社協だよりに掲載

【第64号（令和6年4月26日発行)】【第66号（令和6年10月28日発行)】

③ 懸垂幕の設置（市役所庁舎に設置）

④ 横断幕の設置（リナシティかのや3階北田交差点側に設置）

⑤ 12月1日（日）の夜間，リナシティを赤色にライトアップ

（2） 赤い羽根共同募金寄附型自動販売機（清涼飲料水）の設置

購入金額の一部が共同募金に寄附される寄附型飲料水自動販売機を設置して，いつでも募金が可能な環境整備と共同募金への理解を深めることに努めた。

・社協本所及び社協本所分室の2か所に設置　実績　59,438円

（3）店舗への募金箱の設置

2か所（Aコープ大始良店，Aコープ肝付あいら店）

（4）募金活動の実施

① 一般募金

ア　運動期間（10月1日から12月31日まで）

イ　街頭募金の実施

・実施日　令和6年10月1日(火)

・場　所　市内15ヶ所のスーパー，ホームセンターなど

・募金ボランティア数　245人

・募金実績　274,574円

ウ　各種別及び募金総額　8,585,000円（前年度比：734,000円の減）

(内訳)

募金種別	募金額	実施方法
戸別募金	5,923,015円	町内会の各世帯に募金協力依頼
街頭募金	274,574円	市内の官公署等の職員に募金協力依頼
法人募金	1,067,000円	市内の企業・病院等に募金協力依頼
学校募金	301,735円	市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼
職域募金	141,589円	市内の官公署等の職員に募金協力依頼
イベント募金	136,356円	各種イベントでの募金活動
個人募金	356,177円	一般の個人に募金協力依頼
その他の募金	384,554円	企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱，共同募金自動販売機の益金等
合計	8,585,000円	

② **歳末たすけあい募金**

ア　運動期間（12 月 1 日から 12 月 31 日まで）

イ　街頭募金の実施

・実施日　令和６年 12 月２日(月)【鹿屋地区・吾平地区・輝北地区】
３日(火)【串良地区】

・場　所　市内 15 ヶ所のスーパー，ホームセンターなど

・募金ボランティア数　238 人

・募金実績　281,904 円

ウ　各種別及び募金総額　2,954,000 円（前年度比：531,784 円の減）

（内訳）

募金種別	募金額	
戸　別　募　金	2,206,231 円	町内会の各世帯に募金協力依頼
街　頭　募　金	281,904 円	市内の官公署等の職員に募金協力依頼
法　人　募　金	3,000 円	市内の企業・病院等に募金協力依頼
職　域　募　金	85,753 円	市内の官公署等の職員に募金協力依頼
個　人　募　金	178,674 円	一般の個人に募金協力依頼
そ の 他 の 募 金	198,438 円	企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱，共同募金自動販売機の益金等
合　　計	2,954,000 円	

９　共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業の実施

鹿児島県共同募金会からの一般募金及び歳末たすけあい募金の配分金を，様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

（１）**一般募金配分金**【配分合計額】6,049,000 円（対前年度比：136,000 円の増）

配　分　内　容	配　分　金
町内会福祉推進助成金	1,464,242 円
福祉活動団体助成金	1,415,738 円
地域福祉協議会運営助成	369,788 円
高齢者祝品等事業	252,468 円
公募助成事業(町内会，ボランティア団体等)	1,114,807 円
児童生徒への学習支援事業	231,288 円
チャリティグラウンドゴルフ大会	97,939 円
輝北福祉交流レクリエーション	25,638 円
ドライブサロンプラス事業（車両リース）	608,628 円
こども食堂への助成事業	146,488 円
民生委員活動啓発事業	210,788 円
ワールドサロン（ボランティア行事用保険）	37,519 円
串良ふれあいフェスタ	16,836 円
事業事務経費	56,833 円

（２）歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】3,729,894 円（対前年度比：45,894 円の増）

配　分　内　容	配　分　金
90 歳以上の高齢者世帯（歳末見舞品事業）	807,300 円
地域歳末たすけあい助成事業（公募事業）	1,098,000 円
児童福祉施設等への助成金	150,000 円
生活困窮者支援	181,000 円
広報啓発事業（社協だより）	721,000 円
事業事務経費	772,594 円

１０　日本赤十字社会員増強運動の実施

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

（１）広報活動の実施

①　日本赤十字社会員増強運動月間である５月の広報啓発の強化。

・社協だより第 64 号に掲載（令和６年４月 26 日発行）
・広報かのや(令和６年４月 26 日号)を活用しての広報
・ポスター，パンフレット，チラシ等募金資材を使った広報
・懸垂幕の設置（市役所庁舎に設置）
・横断幕の設置（リナシティかのや３階北田交差点側に設置）

（２）会員募集の実施

①　募集期間　令和６年４月１日から令和７年３月 31 日
（５月は会員増強運動月間と定めている。）

②　会 員 数　13,788 人（前年度比：837 人の減）

③　納入実績額　8,373,593 円（前年度比：515,557 円の減）
（内訳）

区　分	会費額
個 人 ・ 法 人 等	7,596,843 円
ダイレクトメール	776,750 円
合　　計	8,373,593 円